

令和3年度の事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ

1 事業の成果

令和3年度は、前年度に引き続きコロナウィルス感染拡大の影響を受け、施設管理するみちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターの閉館などあり、全線開通2周年を祝うこともできなかったが、みちのく潮風トレイルを歩くハイカーの数は前年度に比して伸びた結果となった。屋外でのアクティビティーに向く傾向があり、ハイキングは格好のフィールドのひとつとなった。沿線各地ではハイカーが歩く姿が更に多く見られるようになり、ハイカー同士がトレイル上で出会う様子が SNS に数多く投稿された。ハイカーと地域の方々との交流機会も増加し、トレイル沿線の地域の方々、自治体等の協力が進み、地域全体としての取り組みになりつつある。

当年度で MCT 運営計画の正式運用3年目となった。昨年度に続き、構築されてきた運営計画構成員との密な関係性を活かし、定期的な連絡会議の開催やルート巡視といった「管理」に加えて、国補助金を活用したトレイルを活用する事業を数多く実施した。女川では教育旅行、普代村ではトレイルガストロノミー、岩手県と宮城県をまたいだインバウンドツアー造成等実施した。また、宮崎県の長距離自然歩道の再生事業、妙高戸隠連山国立公園内に新たに敷設されたトレイルへの協力も実施し、試行錯誤する MCT の経験を伝え、国内の歩く旅の文化醸成が進むよう取り組んだ。また、民間助成金を活用した地球環境基金の助成金も3年目の最終年を迎え、年賀寄付金ではハイキングパスポートを作成し、地域の方々との交流が更に促進できるよう取り組んだ。今後のトレイルの発展と法人の安定運営を目指し、さまざまな仕掛けをした1年間であった。

みちのく潮風トレイル Hiking Map Book や Data Book の販売も順調である一方、ギアの販売、オリジナル商品の販売には課題を残した。

年度後半の10月からは、センター園庭の野営場の運営も始まり、新たな取り組みもスタートした。仙台も近く、アクセスしやすいこともあり、家族連れやキャンプ初心者には利用しやすいロケーションであるため、当初予想を上回る利用があった。今年度の取り組みを次年度につなげ、課題は解決を計り、地域の方々や歩きにきてくださるハイカーの皆さんと共に、みちのく潮風トレイルを今後も育てていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費 (単位：千円)
①トレイルの整備・維持管理事業	・トレイルの巡視を実施。 ・トレイルの整備を実施。 ・トレイル維持管理のための管理台帳の管理・更新。	通年	トレイル沿線	8人	トレイルを利用する市民及びハイカー 不特定多数	3,459
②トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業	・トレイルの管理運営に関わる東北各地の協力団体と管理運営に関する協議を行い、トレイルを運営統括。 ・トレイルの運営に関わる東北各地の団体と定期会議（連絡会）を開催。 ・トレイル沿線事業者を訪問し、協力依頼。	会議：通年（地域連絡会12回、サテライト連絡会2回、WEB会議9回） 事業者訪問	トレイル沿線、WEB トレイル沿線	5人	各地の協力団体、トレイルを利用する市民及びハイカー	11,039

③トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	・トレイルを活用したハイキングイベント、自然観察会などの開催。	通年（4回）	東松島市～相馬市のトレイル沿線	5人	不特定多数	25,798
④トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	・トレイル文化の発信に係るイベントを開催。 ・展示会等への出展、広報活動。	通年（トレイルセンター内でのイベント3回、ブロックフォーラム3回） JR 駅での展示：12/11～13、3/12～14	トレイルセンター内、トレイル沿線 仙台市、盛岡市	5人	各地の協力団体、トレイルを利用する市民及びハイカー 不特定多数	7,378
⑤トレイルに関わる調査・研究事業	・トレイルとその沿線地域の発展に資するため、トレイルに関わる調査研究を行い、各地の協力団体と共有・活用。	本事業年度は、実施なし	-	-	-	-
⑥トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業	・トレイルに関わる人材育成、ガイド養成のための講座を開設し、地域住民によるガイド体制構築。	本事業年度は、実施なし	-	-	-	-
⑦上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	・トレイルを管理運営するための拠点施設の管理運営。 ・ハイカーの受け入れ、地域住民との交流促進。	施設の管理：通年 環境教育・地域交流のためのイベント：3回	名取市	6人	トレイルセンター及びトレイルを利用する市民、ハイカー 不特定多数	20,223
⑧その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業	・トレイルを歩く際に必要な地図等の作成・販売。	Hiking Map Book・Data Book の作成：通年 Hiking Map Book の販売：10/1～	トレイル沿線 トレイル沿線、東京都	4人	トレイルを利用する市民、ハイカー	5,428

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費 (単位：千円)
①旅行業法に基づく旅行業	・将来的に旅行業免許を取得した後の旅行業	本事業年度は、実施なし	-	-	-
②旅行業法に基づく旅行業者代理業	・将来的に旅行業者代理業免許を取得した後の旅行業代理業	本事業年度は、実施なし	-	-	-
③宿泊施設及びガイドのあっせん事業	・ハイカーが利用できる宿泊施設を把握し提供する。 ・ガイドを希望するハイカーに、ガイドを紹介する。	本事業年度は、実施なし	-	-	-
④トレイルに関する旅行商品企画事業	・トレイルを楽しむための旅行商品を企画し、販売する。 ・トレイルを楽しむための旅行商品の販売を企画する旅行会社等に対して企画協力を行う。	本事業年度は、実施なし	-	-	-
⑤トレイル関連商品の販売事業	・トレイルに関わる用品、飲料を販売する。 ・お土産品を制作、販売する。	TRAIL GATE での物販、自販機での飲料販売：通年	名取トレイルセンター	5人	1,533

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ

令和3年度 事業報告



目次

1. 特定非営利活動に係る事業

1.1.トレイルの整備・維持管理事業	1
1.2.トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業	4
1.3.トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	9
1.4.トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業.....	31
1.5.トレイルに関わる調査・研究事業	61
1.6.トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業	61
1.7.上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業.....	62
1.8.その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業.....	76

2. その他事業

2.1.旅行業法に基づく旅行業	78
2.2.旅行業法に基づく旅行業者代理業	78
2.3.宿泊施設及びガイドのあっせん事業.....	78
2.4.トレイルに関する旅行商品企画事業.....	78
2.5.トレイル関連商品の販売事業.....	79

事業種別	(1.1)トレイルの整備・維持管理事業	事業番号	(1.1)-1		
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務 (4)環境省所管区間のトレイルの管理				
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日				
委託元	東北地方環境事務所				
関係団体	NPO 法人浄土日和、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク				
担当者	業務主任:関博充 業務補佐:西澤美幸、森恭平				
実施内容					
【事業概要】					
みちのく潮風トレイルの環境省所轄区間について、路面及び階段等路体施設、標識、草の繁茂状況、倒木、周辺の枯損木等の確認を行い、必要に応じて草刈り、枝払い、ゴミ拾い等軽度の管理行為を行うとともに、実施結果について東北地方環境事務所、所管する宮古自然保護官事務所担当官及び担当する2つのサテライト(北山崎 VC、浄土ヶ浜 VC)に情報共有を行った。					
【目的】					
環境省が維持管理を担う区間について、定期的に整備活動を実施することで、常に歩ける状態を維持するとともに、利用者にとって有益な情報の収集と発信を行うことを目的として実施した。					
【実施内容】					
下記実施区間①、④～⑧は、年12回、②、③年 10 回実施し、終了後は所定の様式にまとめ、関係者に報告した。必要に応じて HP 等で情報発信した。					
① 岩手県久慈市宇部町小袖～久喜、②岩手県下閉伊郡普代村黒崎、③岩手県下閉伊郡田野畑村北山崎、④岩手県下閉伊郡田野畑村真木沢～岩泉町小本、⑤岩手県宮古市重茂与奈～とどヶ崎、⑥岩手県山田町川代～大沢浜川目、⑦岩手県下閉伊郡山田町船越大浦霞露ヶ岳参詣道入口～霞露ヶ岳頂上、⑧岩手県下閉伊郡山田町船越田の浜牛転橋峠～国民宿舎タブノキ荘跡地					
					
ルート及び標識周りの草刈り(処理前)		ルート及び標識周りの草刈り(処理後)			
考察、及び今後の展開					
環境省管轄区間は、他と比べ自然度が高く、トレイルのために開設した場所のため、定期的な整備を行わないと、道が自然に還りやすい。全線開通後、ハイカーも増え、道が踏み固められつつあるが、引き続き、定期的な整備が必要であり、業務も継続される。					
事業費 (受託金額)	3,459,390 円	経費 (人件費含む)	3,436,730 円	売上	22,660 円

事業種別	(1.1)トレイルの整備・維持管理事業	事業番号	(1.1)-2
事業名 業務名	第一生命保険株式会社主催トレイル清掃活動開催支援		
期間	令和3年10月2日～令和4年10月30日		
委託元			
関係団体	第一生命保険株式会社、協力市町村		
担当者	業務主任:相澤久美 主担当:西澤美幸		
実施内容			
【事業概要】			
第一生命保険株式会社の青森県・岩手県・福島県の7営業オフィスが主催する「みちのく潮風トレイルクリーン活動」の開催支援を行った。企業主催で、みちのく潮風トレイル沿線各地で一斉に行うトレイルの清掃活動は初の試みであり、行政や地域の協力団体を紹介して円滑な開催を支援した。参加者は第一生命の社員や家族など、多くは関係者であり、地域住民でもあったため、みちのく潮風トレイルの周知に繋がる事業であった。大船渡市と相馬市の清掃活動には当法人スタッフも参加した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルの舗装路ではでゴミが多く散見され、その清掃は地域住民の自主的な活動に頼っているのが現状である。第一生命保険株式会社のような地域の事業者が清掃活動を主催することは、大規模にかつ継続的に活動を行うことができ、広くトレイルを周知する機会にもなるため、みちのく潮風トレイルの持続可能な整備(清掃)体制を構築することを目的に、第一生命の事業に協力した。沿線企業との連携はみちのく潮風トレイルの持続可能な運用のためにも必要なことでもある。ナショナル企業である第一生命の広報媒体等にも掲載されることから、全国に向けた広報活動にも繋がることも目的とし実施した。			
【実施内容】			
① みちのく潮風トレイルクリーン活動の開催支援			
(ア) 開催日:10月2日(土)、10月30日(土)			
(イ) 開催場所:八戸市、階上町、久慈市、宮古市、釜石市、大船渡市、相馬市			
(ウ) 参加人数:合計336名			



10/2 大船渡市で開催



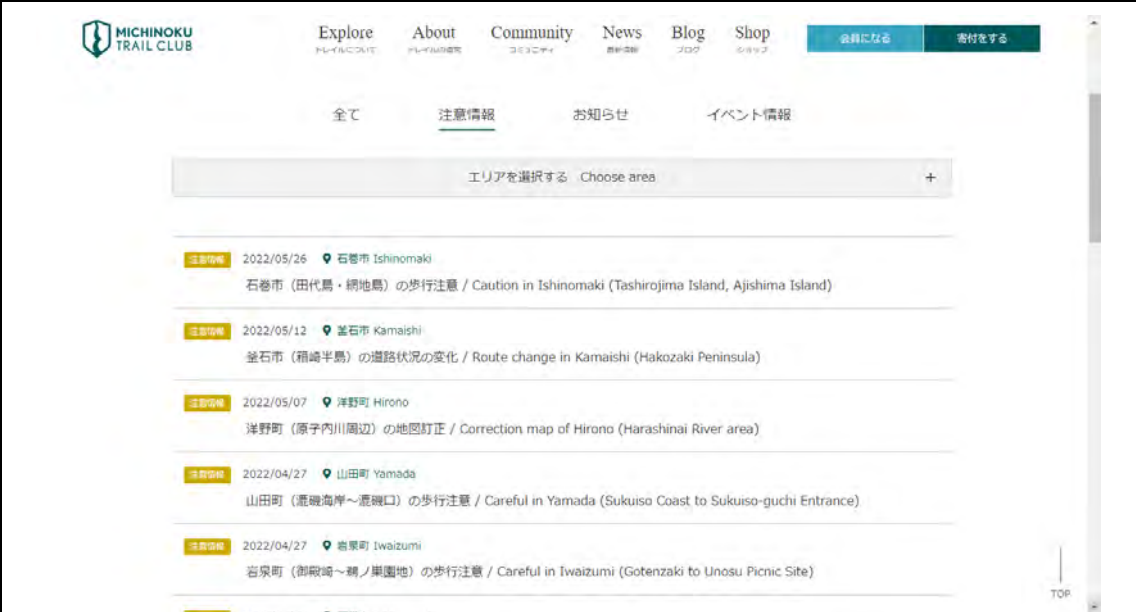
10/30 相馬市で開催

考察、及び今後の展開

クリーン活動参加者からは、「トレイルを初めて知った」「楽しいのでもっとゴミを拾いたい」という感想をいただき、また活動の様子を見た地域住民にもトレイルを周知することができた。

第一生命保険株式会社の各営業オフィスは当法人の会員にもなっており、令和 4 年度以降もトレイル清掃活動を継続する予定との連絡を受けている。今年度は宮城県の営業所は参加が叶わなかったが、次回はぜひ4県の営業所にも参加していただき、トレイルルート of 清掃にご協力いただけるよう相談していきたい。第一生命保険株式会社以外の事業者にも、地域貢献活動の一貫としてトレイルを活用していただき、みちのく潮風トレイルの持続可能な整備体制構築や運営に繋げていきたい。

事業種別	(1.2)トレイルに関わる各種事業及び連絡調整連携事業	事業 番号	(1.2)-1
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務 (1)みちのく潮風トレイルの運営に関する業務、(6)報告書の作成		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体	運営計画構成員		
担当者	業務主任:関博充 業務補佐:西澤美幸、森恭平		
実施内容			
【事業概要】			
「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会事業基本計画」事業1に基づき、サテライトと連携して、トレイル全線の運営にあたった。業務実施後、四半期毎に報告書としてまとめ、委託元に提出した。(事業(1.7)-1にも同基本計画の事業1を実施している)			
【目的】			
みちのく潮風トレイル全線及びみちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターの運営を円滑に実施し、みちのく潮風トレイルが地域やハイカーと共に育てられ成長すること、結果東北沿岸の振興に資する持続可能なトレイルとして東北沿岸に根付くことを目的とし本事業を実施した。			
【実施内容】			
①トレイル沿線の情報収集及び発信			
トレイル全線の情報を収集するため、構成員に一斉巡視等を依頼し、サテライト経由でその情報及び適宜必要な情報を収集した。収集した情報は整理し、運営上有益な情報は、サテライトを経由し、路線管理者に情報共有を行った。対応が必要な場合は、東北地方環境事務所担当官またはサテライトを経由し、路線管理者に対応を依頼した。年度末には、運営計画構成員から、次年度トレイル沿線で実施予定のイベント情報を収集し取りまとめ、HP や別途、作成したチラシ等で発信した。			
宮城県東松島市～福島県相馬市までのサテライト管轄区間における情報を関係者から直接収集集約し、関係者と情報共有を行うとともに、適宜現地を確認し、情報収集を行った。			
②地域連絡会の開催			
運営計画に基づき、トレイルの運営に関しての課題や情報共有を図るため、サテライトと協力して、各管轄区間の県、市町村を参集し、地域連絡会を開催した。			
③サテライト連絡会の開催			
運営計画に基づき、トレイル全線を運営していくための課題や情報の共有、運用方針について協議するため、サテライト連絡会を2回開催した。			
④上記業務を実施後、四半期毎に報告書としてまとめ、委託元に提出した。			



収集した情報は適宜 HP にて発信した



イベント情報をチラシにまとめ発信した

考察、及び今後の展開					
運営計画構成員やハイカー等の協力のもと、トレイル全線に関する情報の収集、トレイルセンター等での情報発信など、円滑に進めることができた。令和 4 年度においても適正かつ効果的に事業を実施する。					
事業費 (受託金額)	11,039,482 円	経費 (人件費含む)	9,412,715 円	売上	1,626,767 円

事業種別	(1.2)トレイルに関わる各種事業及び連絡調整連携事業	事業 番号	(1.2)-2
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務 (5)トレイルオアシス制度の検討		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体	運営計画構成員(4県28市町村)、その他関係地域団体・個人		
担当者	業務主任:関博充 業務補佐:西澤美幸、森恭平		
実施内容			
【事業概要】			
国内外の先行事例の調査、構成員・沿線事業者等へのヒアリングを行い、それらの結果を基に地域住民や民間事業者等の参画を通じた、沿線地域におけるハイカー受入体制の望ましい姿を検討した。			
【目的】			
基本計画事業1に基づき、ハイカーへのサービス提供促進につなげることを目的とし、地域住民や民間事業者等の参画を通じた沿線地域におけるハイカー受入体制の望ましい姿を検討する。ハイカーへのサービス提供を促進することで、MCTを訪れるハイカーらが東北沿岸のファンになり交流人口だけでなく、関係人口の増加につなげ、さらには移住促進にもつなげることを目的とする。			
【実施内容】			
① 国内外の先行事例の収集と分析			
下記4項目に関して、四国八十八ヶ所霊場巡り、熊野古道、信越トレイル、アパラチアントレイル、パシフィック Crestトレイル、ヨルダントレイルの先行事例を収集した。			
(1)整備体制の確立			
(2)歩きやすくするための情報発信			
(3)滞在しやすくするための整備			
(4)ハイカー・地域間交流機会の増加			
② 沿線事業者への新規ヒアリング各市町へヒアリング			
トレイルの取り組みの紹介ならびに取り組みへの協力依頼を27件の事業者等に行った。			
③ 構成員へのヒアリング			
構成員及び地域連絡会オブザーバー等の関係者37者にヒアリングを行った。			
④ ハイカー受入体制の望ましい姿の検討			
上記①の4項目等に関して、②、③の結果ならびに昨年度までに実施した同様の報告を基に、望ましい姿を検討した。			
⑤ 協力事業者の情報発信			
前年度業務で整理した協力事業者21件の情報について、「みちのく潮風トレイルサポーターズ」にて公開し、ハイカーに向けて発信した			

- ・ 国産トレイル (以下、「国産トレ」という)。
- ・ 本編 3 次トレイル アバウチアントレイル (以下、「AT」という)。
- ・ パシフィッククレストトレイル (以下、「PCT」という)。

表 2 (1) 整備体制の確立に関する先行事例

トレイル名	事例内容
道路	行政や民間団体がそれぞれボランティアを募集等し、実施。 ・ 高知県 「高知家」道路道プロジェクト〜四国最南端「あしずり」道路道(金剛岩寺道)を守る。 ふるさと納税仲介サイト「ふるさとチョイス」で得た寄付金を使い、老朽化した橋の修繕(合計 3 ヶ所)や急傾斜地の安全対策といった環境整備、看板の設置、へんろ道マップの作成を行った。 ・ 愛媛県 愛「道路道」プロジェクト〜ふるさと納税制度を活用した道路道の保全・保護。 ふるさと納税仲介サイト「ふるさとチョイス」で得た寄付金を使い、「八幡浜街道五箇峠」(国史跡)の壊れた箇所を修繕や環境整備、県内の国史跡に指定された「道路道」の維持管理をしている地元団体等への費用負担額の支給を行った。



先行事例の調査結果



沿線事業者へのヒアリング
(仙台国際空港株式会社)

考察、及び今後の展開

MCT において、運営計画構成員、地域住民・事業者、そしてハイカーの三者が、「みちのく潮風トレイル憲章」を共通理念として、バランス良く三角形を描き、そして、三者それぞれで関係者を増やし、三角形を大きくすることで、地域参画型の受入体制が強化されていくものと期待できる。

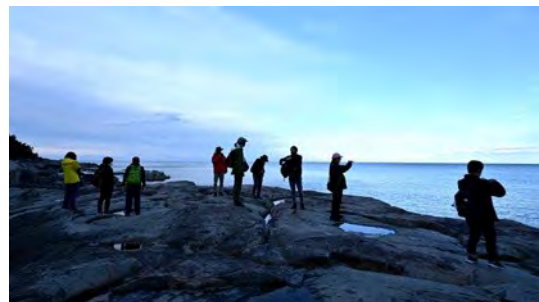
事業費 (受託金額)	事業(1.2)-1 に含む	経費 (人件費含む)		売上	
---------------	------------------	---------------	--	----	--

事業種別	(1.2)トレイルに関わる各種事業及び連絡調整連携事業		事業 番号	(1.2)-3	
事業名 業務名	地域事業者との連携(サテライトウェブ会議)				
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日				
委託元					
関係団体	各サテライト運営組織				
担当者	業務主任:関博充、西澤美幸、森恭平				
実施内容					
【事業概要】					
「みちのく潮風トレイル運営計画」に定められたサテライト施設を運営する組織やその他トレイル関連事業を協働する組織との情報共有や課題等を協議するために、月一回程度を目安にウェブ会議を開催した。					
【目的】					
広域連携の取り組みである「みちのく潮風トレイル」の運営に関して、より主体的な立場であるサテライト施設の運営団体と、さまざまな取り組みを円滑に進めるためには信頼関係と連携体制の構築が不可欠である。各施設はそれぞれ離れているが、定期的に各団体が持つ各地の最新情報、取り組み状況、課題等共有し、中長期的にトレイル全線の利用推進に必要な取り組みを見極めることを目的とし、ウェブ会議を開催した。					
【実施内容】					
4月14日(水) 9:15～ 近況報告、協力金の運用、等について					
5月19日(水) 9:15～ 近況報告、協力金の運用、等について					
9月2日(木) 9:15～ 近況報告、開催イベントの協力依頼、等について					
10月7日(木) 9:15～ 近況報告、緊急時の連絡体制、等について					
11月4日(木) 9:15～ 近況報告、地域連絡会、サテライト連絡会、等について					
12月3日(金) 9:15～ 近況報告、地域連絡会、サテライト連絡会、等について					
1月7日(金) 9:15～ 近況報告、地域連絡会、サテライト連絡会について					
考察、及び今後の展開					
年2回開催しているサテライト連絡会とともに、このウェブ会議は、サテライト施設を運営する地域団体間との情報共有や課題解決に向けた協議の場として、非常に有益であるため、今後も継続して開催する。環境省予算を得てトレイル運営計画に位置づけられる統括本部としてではなく、トレイル運営に取り組む立場としてだけでなく、東北沿岸の歩く旅の文化を醸成させることを目的とする当法人として、地域事業者への適切な情報提供と資金的サポートも常に意識し取り組む必要があると考える。					
事業費 (受託金額)	0円	経費 (人件費含 む)	0円	売上	0円

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業 番号	(1.3)-1
事業名 業務名	国立公園及びみちのく潮風トレイルの利用促進のためのトレイル ガストロノミーツアーの造成(環境省 令和2年度(補正予算)国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業)		
期間	令和3年7月31日～令和4年1月31日		
委託元	普代村		
関係団体	青の国ふだい、久慈広域観光協議会、総合設計研究所、クラブツーリズム、ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構、トレイルブレイズハイキング研究所		
担当者	業務主任:相澤久美 業務補佐:板谷学		
実施内容			
【事業概要】			
三陸復興国立公園内を通る「みちのく潮風トレイル」のうち、岩手県北部の洋野、久慈、野田、普代、田野畑ルートを活用し、長期滞在型のトレイルガストロノミーツアーを造成した。また、国立公園と長距離自然歩道を掛け合わせた双方の利用促進を検討するため、全国の「国立公園×長距離自然歩道」に取り組む関係者等を参集し「ナショナルパークサミット」を開催した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイル全線でも豊かな自然と、人々が暮らしを積み重ねてきた集落を交互に歩くルートである当該区間において、その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的とし、欧米を中心に世界各国で取り組まれているガストロノミーツーリズムの手法を取り入れ、「トレイルガストロノミー」ツアーを造成し、みちのく潮風トレイルを活用した新たな取り組み事例とすると共に、これまでにない客層をみちのく潮風トレイルに呼び込むことを目的とした。			
みちのく潮風トレイルを目指してより幅広い層が当該地域を訪れ、地域振興に資することを最終的な目的としている。			
【実施内容】			
① 全体アドバイス及びトレイルガストロノミーツアーに相応しいコンテンツの磨き上げ 普代村、総合設計を中心に関係者と会合を重ね、当該エリアに相応しいトレイルガストロノミーツアーの造成を行った。			
② 滞在型ツアーの全体内容検討 5泊6日のツアーを造成。ツアーの造成にあたっては、(一社)トレイルブレイズハイキング研究所と協働し、ツアーに加えるプログラム等検討した。また、ツアーに同行し、案内するとともに、ツアー参加者に向けてみちのく潮風トレイルについての解説も行った。 (ア) ツアー実施日:令和3年12月29日(月)～1月6日(5泊6日) (イ) 参加人数:12名、普代村担当者:1名、ツアーコーディネーター1名、他関係者延8名			
③ メディアを活用したPR活動 SNSを通じて情報発信を行った。また、ONSEN ガストロノミーツーリズム推進機構主催のナショナルパークサミットに参加し、みちのく潮風トレイルについてプレゼンテーションした。開催会場は東京であったため、コロナの影響で普代村担当者は参加できなかった。			



田子の木遊歩道からトレイルルートを案内



トレイル沿いの自然景観を楽しみ歩いてもらう



まめぶ汁と焼きかぜなど郷土料理を提供



普代の商店街では自由散策時間も設けた



野田のワイナリーで取組を紹介



鵜鳥神楽観賞と直会は好評だった



ツェルト張り体験も全員参加した



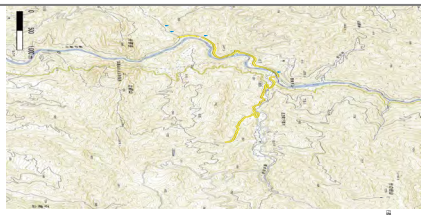
NP サミットには、俳優のなすび氏も参加した

考察、及び今後の展開

ツアー参加者は60代～70代のクラブツーリズムの顧客であった。みちのく潮風トレイルの取組に対して賛同していただき、又、久慈～田野畑村のトレイルルート及び体験コンテンツも好評だった。全線踏破に挑戦したいという方もおり、今後数居の低いツアーからロングハイク挑戦者が生まれることが期待されるため、当ツアーが継続されるようクラブツーリズムに働きかけを行う。

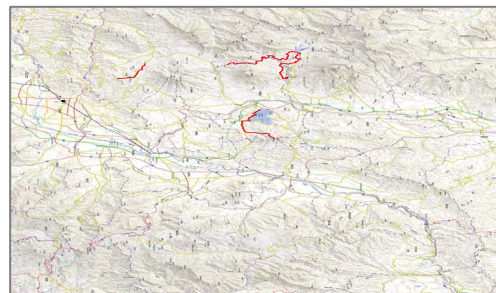
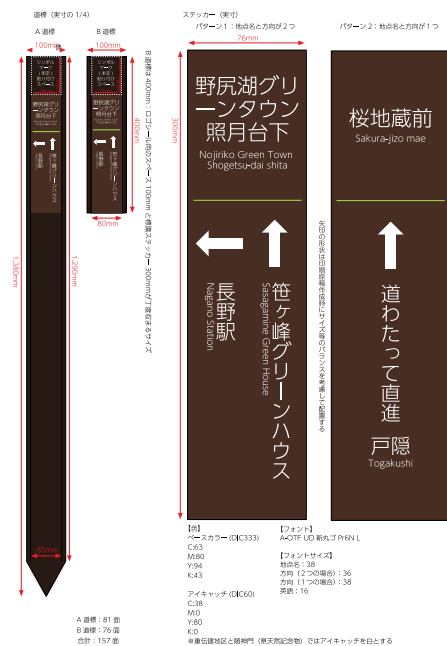
事業費 (受託金額)	1,702,800 円	経費 (人件費含む)	1,614,962 円	売上	87,838 円
---------------	-------------	---------------	-------------	----	----------

事業種別	(3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-2
事業名 業務名	国立・国定公園をつなぐ九州自然歩道の新しい一歩づくり事業 (環境省 令和2年度(補正予算)国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業)		
期間	令和3年7月15日～令和4年2月15日		
委託元	一社)トレイルブレイズハイキング研究所		
関係団体	九州自然歩道フォーラム、silent voice		
担当者	業務主任:相澤久美		
実施内容			
【事業概要】			
1980年に開通した「九州自然歩道」の宮崎県コース約350kmをモデルに、今後の九州自然歩道再興の第一歩となる事業を実施した。宮崎県内全線を利用者目線で調査し、地域資源の掘り起こし、通行の可否の確認、一部整備等を行い、ハイキングマップ及びデータブックを制作した。又、霧島錦江湾国立公園や祖母傾国定公園など素晴らしい自然環境と里山文化に触れる2泊3日程度のアドベンチャーツアーを造成した。			
【目的】			
全国の長距離自然歩道の発展はみちのく潮風トレイルの存続にも重要だが、全国に28,000キロある長距離自然歩道の活用は進んでいない。本事業は、みちのく潮風トレイル運営の経験を生かし、宮崎県内の九州自然歩道と国立公園、国定公園の利用促進を通じて、交流人口拡大、地域経済の再活性化に寄与するために、宮崎県内のトレイル沿線を、持続可能な地域／持続可能な観光地へと育てることが目的とされた。本事業終了後は、宮崎県での取組を横展開し、九州自然歩道全域の利用促進につなげることも目的である。全国の長距離自然歩道の活用を進め、歩く旅の文化を国内に浸透させることで、みちのく潮風トレイルの持続可能な運営にもつなげることを目的とし本事業に参画した。			
【実施内容】			
① 宮崎県内14市町を通るコースの実踏査への協力			
② 各市町へヒアリングへの協力			
③ モニターツアー／募集型ツアーへの参加			
(ア) モニターツアー実施日:令和3年12月29日(月)～12月6日(5泊6日)			
(イ) 参加人数:12名、普代村担当者:1名、ツアーコーディネーター1名、他関係者延8名			
(ウ) 募集型ツアー実施日:令和3年11月20(土)			
(エ) 参加人数:			
④ トークイベントの実施			
調査やモニターツアーを実施後、九州自然歩道及び沿線市町の周知のために実施。コロナウィルス感染拡大状況を鑑みオンラインで実施(918回視聴／2022.05月時点)			
https://youtu.be/8-b1XOHPtmw			
当法人は「みちのく潮風トレイルの事例」を発表し、後段のトークセッションの司会進行を担当。			

 九州自然歩道 宮崎県ルート 九州自然歩道宮崎ルートのルート図	 山沿いのルートを歩く道  MAP BOOK の作成も実施された
 誰も歩かず放置された道もあった  林業の盛んな山のルート	 九州自然歩道 トークイベントチラシ

考察、及び今後の展開 40 年前に敷設された長距離自然歩道は、管理運営体制がなく各県主導のもと管理費のみ市町村に支出、全体の状態把握はされていない。地形図には「九州自然歩道」と記載され、調査で歩くと周辺住民には存在を知っている方も多くいたが、活かし切れておらず残念であった。MCT と状況は違うが今後も情報交換しつつ相互に自然歩道の活用を進められるよう協働したい。					
事業費 (受託金額)	1,100,000 円	経費 (人件費含む)	1,087,401 円	売上	12,599 円

事業種別	(3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業 番号	(1.3)-3
事業名 業務名	妙高戸隠連山国立公園のロングトレイルを活用した滞在型ツアーの造成 (環境省 令和2年度(補正予算)国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業)		
期間	令和3年8月4日～令和4年2月15日		
委託元	一社)トレイルブレイズハイキング研究所		
関係団体	しなのディスカバリー、あまとみトレイルクラブ、信越トレイル		
担当者	業務主任:相澤久美		
実施内容			
【事業概要】 令和3年度に全線開通を予定する妙高戸隠連山国立公園のロングトレイル(あまとみトレイル)約80kmの歩道整備(道標設置、及路体整備)、並びに全線をアプローチしやすいいくつかのセクションに分け、2泊3日程度の複数のアドベンチャー&サスティナブルツアーを造成、モニターツアーを通して発信した。開通すれば国内外でも人気のある信越トレイルとも接続し、妙高戸隠連山国立公園から上信越高原国立公園までを歩いて繋げる魅力的な官民連携のロングトレイルとなる。安心安全に多くの方に歩いていただき、国立公園の周遊利用を促進する。			
【目的】 妙高戸隠連山国立公園のロングトレイルは、町と自然を繋ぎ、地域の人々の暮らし、歴史文化、生業を体験できる魅力あふれるルートである。このトレイルに、今後国内外の歩く旅人を招き入れ長期滞在を促し、地域の交流人口拡大と経済振興に寄与する地域資源として育て、持続可能な地域づくりと、持続可能な観光地の中核とすることを本事業の目的とし実施した。みちのく潮風トレイルで得たノウハウを民間が主体となり運営されるトレイルに展開することで、国内に持続可能なトレイルが増え、歩く文化の定着がみちのく潮風トレイルに好影響を与えることも視野にいられている。			
【実施内容】 ①モニターツアー、意見交換会の参加 (ア)2泊3日ツアー 1回(斑尾山ー野尻湖ー苗名滝) (イ)3泊4日ツアー 1回(長野ー戸隠ー妙高笹ヶ峰) (ウ)各ツアー実施に合わせて意見交換会を実施 ②トレイル調査・データブックおよびマップブック制作助言 ③路体整備作業の実施、簡易道標の設置指導 ④誕生トークイベントの実施 ⑤あまとみトレイル概要や地域文化、スルーハイカーからのトレイルの魅力紹介などを中心にトークイベントを開催し、youtubeで配信(725回視聴:2022.5月時点) https://youtu.be/icrm_V3ARLg			



考察、及び今後の展開

国立公園の協議会にある「歩く部会」主導で運営が検討されている。歩く部会は地域住民、事業者が参加しており、運営団体の NPO のこの参加者が立上げ運営を担う予定である。一方で、運営計画の策定は遅れており、部分開通した後一旦閉鎖したと聞く。信越トレイルにもつながるトレイルとなるため、MTC としても応援し、一緒に歩く旅の文化醸成に取り組みたい。

事業費 (受託金額)	678,810 円	経費 (人件費含む)	489,275 円	売上	189,535 円
---------------	-----------	---------------	-----------	----	-----------

事業種別	(3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業 番号	(1.3)-4
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 岩手区間における AT ツアー造成事業 (東北運輸局 令和3年度 地域の観光コンテンツを活用したアドベンチャーツーリズムのモデルツアー造成事業)		
期間	令和3年6月1日～令和4年2月28日		
委託元	東北運輸局		
関係団体	地球の歩き方、WALK JAPAN、釜石 DMC、気仙沼地域戦略		
担当者	業務主任:相澤久美		
実施内容			
【事業概要】			
みちのく潮風トレイルの岩手県内ルートにおいて、外国人専門家、地域事業団体と意見交換をしながら、長期体験型観光コンテンツ・モデルツアーの企画開発を行い、インバウンド向けのセルフガイドツアーの造成を行なった。造成されたツアーは、歩き旅の老舗(インバウンドに特化)の WALK ジャパンのサイトで公開・販売されている。また、英語の話せるトレイルガイドが東北沿岸には極めて少ないため、通訳ガイド協会等に声がけし、トレイルガイド育成のための講習を実施した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルは、コロナ禍以前、多くの外国人ハイカーが訪れていた。一方で、名取トレイルセンターには、宿泊施設に関する問い合わせ、各種手配を全て任せたいという問い合わせもある。外国語での予約対応ができる宿泊施設は電話であれ、ウェブであれまだ少ない現状をすぐに変えることは難しいが、ガイドツアーやセルフガイドツアーを提供することで 10 日前後の歩き旅を楽しみたいインバウンドのニーズに一部でも応えるため、インバウンド向けツアー造成を実施した。			
【実施内容】			
① 外国人や専門家が参画する検討会の実施 (ア) 釜石 DMC、気仙沼地域戦略と歩き旅の専門家である WALK JAPAN の代表を交えて歩き旅に付加するコンテンツ開発の機会創出			
② モデルツアーの企画開発 (ア) WALK JAPAN によるセルフガイドツアー造成に協力			
③ トレイルガイドの育成			
④ ガイド向けコミュニケーションツールの制作 (ア) 紙芝居形式のトレイルガイドツールの制作協力			
⑤ 旅行会社等招聘モニターツアーの実施 (ア) 複数社を招聘したモニターツアー時の案内			
⑥ 北海道アドベンチャートラベルワールドサミットでの販路形成 (ア) 海外展開のための資料作成			



検討会の開催



気仙大工プログラムの調査



牡蠣漁師との体験プログラム調査

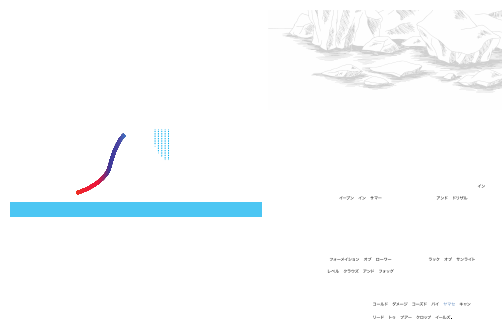


モニターツアーの実施



ガイド研修

トークイベントチラシ、会場風景



ガイドツール(裏表に日英で印刷)

考察、及び今後の展開

令和 2～3 年度の 2 ヶ年で、地球の歩き方、WALK JAPAN と協働しガイド付きツアーとセルフガイドツアーの二種類の作成し、令和 4 年秋の予約がすでに何件か入り始めている。招聘したその他インバウンド系旅行会社もツアーの造成を行なっているため、インバウンド回復後これらツアーを活用し東北沿岸を訪れてくれる外国人が増加することが期待される。今後は個人旅行のインバウンド対策のための荷物搬送や英語ガイド(安全管理技術含む)育成など取り組む。

事業費 (受託金額)	3,000,000 円	経費 (人件費含む)	2,762,266 円	売上	237,734 円
---------------	-------------	---------------	-------------	----	-----------

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-5
事業名	年賀寄付金配分事業		
期間	令和3年4月28日～令和4年3月31日		
助成元	郵便局		
関係団体	ハイランドデザイン、マトイクリエイト、ボタルヤ、ハラプレックス他		
担当者	業務主任:相澤久美 主担当:西澤美幸		
実施内容			
【事業概要】			
年賀寄付金の配分を受けて、みちのく潮風トレイルの歩き旅を記録する手帳「ハイキングパスポート」、28 市町村とサテライト施設に設置する「スタンプ」、スタンプを集めた方が購入できる「ピンバッジ」、踏破者への記念品「エンブレム」の作成に加えて、歩いた旅の思い出として沿線 147 箇所スタンプを集められるよう地域の事業者さん等にスタンプ設置箇所への登録を依頼し、協力を得た。令和 4 年 2～3 月はモニター期間とし 80 名が参加した。ハイキングパスポートは令和 4 年 4 月から販売を開始した。単なるスタンプラリーとして景品を集める取り組みではなく、地域との交流促進を主眼におき、また、長く大切にできる使い捨てにされることのないデザインとした。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルはハイキング初心者でも歩きやすい区間も多いが、利用者の多くは普段からハイキングや登山を楽しんでいる方であり、それ以外の層への認知度はまだ低い状況にある。本事業では、アメリカの国立公園でも販売されている「パスポート」に着想を得て、旅の記憶を綴ることのできる手帳をつくり、また、各所にスタンプを設置しその収集と、各施設にある既存スタンプを押すことで利用者と地域の方々の交流を促すことを目的とし、ハイキングに加えて新たな楽しみを見出すことで、利用者の裾野を広げ、より多くの方にみちのく潮風トレイルをハイキングしていただけるよう取り組んだ。また、全線開通以前に北三陸で先行して取り組まれていた「スタンプラリー」は全線での取り組みを視野に令和元年に廃止されていたが、当時の取り組みを楽しんでいた利用者も多く、再会が期待されていたまた、過去の取り組みの中で作成されたスタンプの再活用も企図していた。みちのく潮風トレイルの新たな楽しみを生み出すことで、利用者の裾野を広げより多くの方に訪れ、地域の方々との交流を楽しんでいただくことを目的とした。			
【実施内容】			
① スタンプ押印協力施設の獲得(147 箇所)			
② ハイキングパスポート、スタンプ、ピンバッジ、踏破エンブレムの作成			
③ モニター実施			
(ア) 実施期間:令和 4 年 2 月 1 日(火)～3 月 31 日(木)			
(イ) モニター参加者数:一般募集 75 名、関係者 51 名			
(ウ) モニター協力内容:施設でスタンプを押してアンケートに回答、SNS 等で広報			
④ 施設掲示用チラシと卓上 POP の作成・配布			
⑤ 東北道の駅公式マガジン「おでかけみちこ」への広告掲載			



ハイキングパスポート



モニターの SNS 投稿



スタンプ設置協力施設で



パスポートを持ちながら歩く利用者

考察、及び今後の展開

2 月から開始したモニター期間中、モニターの方々が積極的に各所にスタンプを押しに出向いてくださったおかげで地域での認知度向上を進めることができました。また、SNS で発信もしていただいたことが、その後の販売につながっている。モニターの SNS では、パスポートを持ちながら歩き地域と交流する姿が投稿された。道の駅の媒体『おでかけみちこ』にタイアップ記事として出稿し、また複数の新聞に掲載されたこともあり、令和 4 年 4 月のハイキングパスポート販売開始以降、順調に販売されている。スタンプ設置ポイントは、希望施設には登録していただける仕組みとしているが、カミーノ・デ・サンティアゴのようにいずれはトレイル沿いのどの施設でもスタンプを押すことができ、設置箇所の登録情報が不要になることを理想とする。市町村や観光協会、地域事業者らが主体的にスタンプの制作をしてくれるケースもあった。ハイキングパスポートが、記憶を綴り、スタンプが利用者と地域の方々との交流を促し、思い出の品としてピンバッチを購入してもらい、みちのく潮風トレイルのファンを増やすことにつながるよう、引き続きスタンプ設置箇所の増加と、ハイキングパスポートの取り組みの周知に務める。

事業費 (受託金額)	4,964,290 円	経費 (人件費含む)	5,080,561 円	売上	(116,271 円)
---------------	-------------	---------------	-------------	----	-------------

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-6
業務名	名取市受託事業「令和3年度 観察会業務」		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元	名取市		
関係団体	日本野鳥の会宮城県支部、ボーイスカウト名取第一団		
担当者	主担当:西澤美幸 補佐:トマス・アンナ		
実施内容			
【事業概要】			
当初は令和3年4月に開催予定であった名取市高舘山での自然観察会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、9月に延期したが、その後も感染が再拡大したため、令和3年度は中止となった。野鳥観察会は、令和4年1月29日(土)に名取トレイルセンターから名取川河口までを歩きながら実施した。多くの子どもたちにも参加してもらい、環境教育の一環とした。			
【目的】			
名取市の自然の中を歩き、自然への親しみを持つとともに、地域の植物や野鳥と身近に触れ合い、その観察・学習を通して、名取市の環境保全推進を名取市民に広く周知することを目的に、名取市からの委託を受けて事業を実施した。ボーイスカウトの子どもたちにも参加してもらい、名取トレイルセンターやみちのく潮風トレイルについて知ってもらえる機会とすること、並びに、今後ともボーイスカウトの皆さんと連携し活動展開することも目的とした。			
【実施内容】			
① 自然観察会の開催			
(ア) 令和3年4月24日(土)開催予定			
24名から参加申込があったが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期。			
(イ) 9月18日(土)開催予定			
講師と共に現地の下見を実施し、4月の申込者全員が参加を希望したが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。			
② 野鳥観察会の開催			
(ア) 開催日:令和4年1月29日(土)			
(イ) 講師:日本野鳥の会宮城県支部 佐竹氏、丹野氏			
(ウ) 参加者数:35名(内、ボーイスカウト名取第1団29名)			



名取トレイルセンター園庭で野鳥観察



名取トレイルセンターで鳥合わせ



名取川河口で野鳥観察

考察、及び今後の展開

本事業は令和 2 年度から名取市の委託を受けて実施している。自然観察会は、令和 2 年度は秋に開催し「春の植物や花を見たい」との要望が多かったため、春開催を目指して準備を進めていたが、令和 3 年度はコロナウィルス感染拡大の影響を受け中止となった。次年度はたくさんの花が咲く春に開催したい。野鳥観察会は寒さのためか参加申込が少ない傾向にあるため、令和 3 年度はボーイスカウト名取第一団と事前に日程を調整してご参加いただいた。次年度以降も、ボーイスカウトの皆さまと連携して事業を進めていきたい。

事業費 (受託金額)	451,330 円	経費 (人件費含む)	332,865 円	売上	118,465 円
---------------	-----------	---------------	-----------	----	-----------

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-7
事業名 業務名	日本ビーチ文化振興協会受託事業「みちのく潮風トレイルを歩いて国立公園を楽しもう！海の美術館メッセージアート展業務」		
期間	令和3年8月16日～令和4年1月31日		
委託元	特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会		
関係団体	一般社団法人トレイルブレイズ ハイキング研究所、北奥羽自然史研究所		
担当者	業務主任:相澤久美 主担当:西澤美幸		
実施内容			
【事業概要】			
日本ビーチ文化振興協会が令和3年10月16日(土)～17日(日)に洋野町で開催した「みちのく潮風トレイルを歩いて国立公園を楽しもう！海の美術館メッセージアート展」及び同日程で階上町と洋野町で開催したトレイルツアー「ハイカーと一緒に歩く 親子でみちのく潮風トレイル体験」に、事前準備や関係者の紹介、当日の運営補助等の協力を行った。昨年度実施された同事業では荒天によりツアー部分が中止となったが、今年度は小雨の中、地元ガイドである高橋先生と、ハイキングの楽しさを伝える講師として参加して下さったトレ研の長谷川氏の引率により、複数の親子とハイキングを実施した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルを活用して、地域の自然・文化等に触れ堪能する滞在型ツアーを設定し、みちのく潮風トレイルを含む三陸復興国立公園の誘客を促進することを目的として、本事業は実施された。「メッセージアート展」は、イラストや写真等の作品をTシャツに印刷して浜辺に展示することで、海辺景観を活かしたイベントとして同国立公園を全国に広く周知することを目的とし、令和2年度は八戸市(雨天中止)、普代村(雨天のためツアーは中止)、気仙沼でも開催され、自治体の皆様からも一定の評価を得たため、今年度もみちのく潮風トレイルの認知度向上、利用促進を図ることを目的とし、本事業への協力を行った。			
【実施内容】			
① トレイルツアーの現地確認(下見)			
② メッセージアート展の開催協力			
(ア) 開催日:同年10月16日(土)～17日(日)			
(イ) 開催場所:洋野町種市海浜公園海水浴場			
③ トレイルツアーの運営補助(同行)			
(ア) 実施日:同年10月16日(土)～17日(日)			
(イ) 内容:1日目は洋野町ハイキング及び星空教室、2日目は階上町ハイキング			
(ウ) 参加者数:1日目 11名、2日目 7名			



メッセージアート展会場



トレイルツアー1日目 有家海岸



トレイルツアー1日目 ハイカートーク



トレイルツアー1日目 星空教室



トレイルツアー2日目 メッセージアート展会場



トレイルツアー2日目 階上灯台

考察、及び今後の展開

令和 2 年度から日本ビーチ文化振興協会が主催するメッセージアート展の開催及びトレイルツアーの実施に協力しており、令和 2 年度は悪天候のためトレイルツアーは中止、メッセージアート展も予定の半分しか開催できなかった。令和 3 年度は、初日は雨で予定を大幅に変更したものの、2 日目は予定通りに開催・実施することができ、来場者とツアー参加者にみちのく潮風トレイルを歩くことの楽しさを体験してもらい、三陸復興国立公園の成り立ちや大切にされる自然について学んでいただくことができた。今後も、日本ビーチ文化振興協会はトレイル沿線でメッセージアート展を継続開催したいという意向があり、本事業はトレイルの周知や沿線地域への集客に繋がることから、開催が実現する際には引き続き協力していきたい。

事業費 (受託金額)	2,142,466 円	経費 (人件費含む)	1,619,462 円	売上	523,004 円
---------------	-------------	---------------	-------------	----	-----------

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-8
事業名 業務名	みちのく潮風トレイルの南端に続く、福島のうちくしま浜街道トレイル(仮)の造成		
期間	令和3年8月6日～令和4年3月31日		
委託元			
関係団体	一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所 うちくしま浜街道観光推進会議		
担当者	業務主任:相澤久美 業務補佐:森恭平		
実施内容			
【事業概要】			
みちのく潮風トレイルは青森県八戸市～福島県相馬市までの4県28市町村がつながるロングトレイルであるが、令和2年度より福島県新地町～いわき市までの13市町村の協議体である「うちくしま浜街道観光推進会議」が中心となり、福島県浜街道地域にロングトレイル(うちくしま浜街道トレイル(仮))を敷設する事業が進んでいる。同トレイルはみちのく潮風トレイルの南端に続くトレイルになることから、トレイルクラブとしても同トレイルの敷設に協力している。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルは東日本大震災の環境省の復興事業の一つとして進められた事業であり、関係者でこのトレイルをいつまでも維持していくために「みちのく潮風トレイル憲章」が定められ、憲章の中には「震災をいつまでも語り継ぐための記憶の道とします。」という一文が記されている。東日本大震災は地震・津波・原子力災害が引き起こされた複合災害であるが、みちのく潮風トレイルは福島県相馬市がターミナスとなっていることから、原子力災害について歩きながら感じることはない。 うちくしま浜街道トレイル(仮)が開通することで、2つのトレイルが東日本大震災を語り継ぐための道となること、そして未だ風評被害に悩む福島県浜通り地域にハイカーが訪れるきっかけとなることを目的に事業に取り組んでいる。			
【実施内容】			
① ファムトリップの実施・運営			
令和2年度に一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所が策定した、うちくしま浜街道トレイル(仮)暫定ルートを活用し、浪江町・双葉町・大熊町・富岡町ルートでファムトリップを実施した。なお、双葉駅～大野駅間は帰還困難区域に設定されており、10年経った今も歩けない場所あることを参加者に実感していただくために常磐線に乗車して移動した。 (ア) 実施日:令和3年11月6日(土)～11月7日(日) (イ) 参加人数:インフルエンサー1名、有識者1名、地域住民等2日間延べ47名			
② なすび氏によるPRスルーハイキングのサポート			
タレント・俳優のなすび氏は、みちのく潮風トレイルのスルーハイカーであり、環境省の「福島環境・未来アンバサダー」も務められている。東日本大震災後から現在に渡り、積極的に東			

日本大震災の被災地や出身地である福島県の復興支援活動に関わっておられ、福島県内での認知度も高いことから、なすび氏にうつくしま浜街道トレイル(仮)をスルーハイクしていただき、道中の様子を SNS 等で発信していただくことで、同トレイルの地域内外での認知度の向上を図った。

(ア) 日程及び歩行ルート:

- ① 令和3年10月10日(日):新地町
- ② 令和3年10月15日(金):新地町～相馬市～南相馬市
- ③ 令和3年10月16日(土):南相馬市～浪江町
- ④ 令和3年10月17日(日):浪江町～双葉町～大熊町～富岡町
- ⑤ 令和3年11月1日(月):富岡町～楡葉町～広野町～いわき市
- ⑥ 令和3年11月11日(木):いわき市
- ⑦ 令和3年11月25日(木):いわき市



ファムトリップ1日目集合(道の駅なみえ)



原子力災害伝承館を見学した



ファムトリップ1日目ゴール(双葉駅)



ファムトリップ2日目スタート(双葉駅より常磐線乗車)



交流施設「linkる大熊」を見学した



ファムトリップ2日目ゴール(富岡町)



なすび氏 PR スルーハイクスタート(新地町)



Twitter 発信の様子



双葉町での説明会



双葉町でのワークショップ



南相馬市でのワークショップ時意見



相馬市でのワークショップ

考察、及び今後の展開

うつくしま浜街道トレイル(仮)は令和 5 年度の全線開通に向けて事業が進められており、令和4年度は名称決定や暫定ルート所有者を確認し、本ルートにする作業が予定されている。また、名称決定、運営計画の策定、協力して下さる地域事業者や住民などへの説明など、取り組むべきことは山積しているが、みちのく潮風トレイルに接続していわきまで歩ける道であることも視野に入れながら事業が行われているので、令和 4 年度も引き続き協力していきたい。

事業費 (受託金額)	3,843,000 円	経費 (人件費含む)	3,785,751 円	売上	57,249 円
---------------	-------------	---------------	-------------	----	----------

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業 番号	(1.3)-9
事業名 業務名	みちのく潮風トレイルを活用した教育旅行/企業研修向けツアープログラム造成事業		
期間	令和3年7月8日～令和4年3月31日		
委託元			
関係団体	一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所、株式会社JTB 仙台支店、女川町観光協会他		
担当者	業務主任:相澤久美 業務補佐:森恭平		
実施内容			
【事業概要】 みちのく潮風トレイルの雄勝・女川・金華山エリアのコースを活用したハイキングと震災学習要素を含んだ教育旅行/企業研修向けツアープログラム造成を目的に、地域団体との複数回の検討会や現地実走を行うとともに、首都圏の企業や東北の大学生を招いてのモニターツアーを実施した。これらの結果をもとにツアープログラム造成し、株式会社 JTB の販売網に掲載した。			
【目的】 女川町・金華山・石巻市雄勝地区の一帯は、東日本大震災の震源に最も近く、大津波による壊滅的な被害を受けた場所であった。震災から10年を経て、復興が進む中でのコロナウイルス感染拡大の影響を受け地元経済には大きな打撃を受け深刻な状況にあった。当該地域のトレイルルートを活用した教育旅行/企業研修向けツアープログラム造成することで、本エリアでの誘客を促進し、観光業・飲食業を中心とした雇用の維持、確保等地域経済の活性化につなげることを目的とした。また、地域団体や個人への検討会参加を呼びかけ、本エリアにおけるみちのく潮風トレイルの認知拡大を目的とした。			
【実施内容】 ① 検討会の実施 観光協会や地元企業、大学関係者等を招聘し、モニターツアーの内容の検討及びツアープログラム造成に向けて複数回の検討会を実施した。検討会は株式会社 JTB 仙台支店が事務局を務めた。 (ア) 実施日時： ① 令和3年7月8日(木)10:00～13:00 ② 令和3年8月2日(木)10:00～13:00 ③ 令和3年9月13日(月)10:00～13:00 ④ 令和3年11月1日(月)14:00～17:00 ⑤ 令和3年12月13日(月)10:00～13:00 ② 現地実走の実施 検討会で出た意見を元にモニターツアー時のハイキングルートを作成し、株式会社 JTB 及びツアーガイド候補者と合同でルート実走を行った。 (ア) 実施日：			

① 令和3年8月28日(土)～29日(日)

② 令和3年10月21日(木)

③ モニターツアーの実施

上記の検証結果を踏まえ、2泊3日のモニターツアーを実施した。「女川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」内でSDGsとの関係性を強く打ち出していたことから、ハイキングを通じて、街作りと自然(水産業)の関係、林業、産業と信仰を学ぶことができる内容とし、1日の終わりのグループワークを通じて、自らが女川町にどのように貢献できるかを考える場を設けた。本ツアーは仙台・宮城の情報誌「S-style」2月号に掲載された。

(ア) 実施日: 令和3年11月12日(金)～11月14日(日)

(イ) 参加人数: 10名(首都圏の社会人、地元メディア、地元大学生等)

④ 販売用プログラムの検討

モニターツアーの結果を踏まえ、株式会社JTB仙台支店と販売用ツアーを検討した。モニターツアーは2泊3日で実施したが、3日目に実施した金華山ハイキングは船のダイヤの調整が困難であることから、1日目の女川町内の散策と2日目の石投山ハイキングに絞って販売用のプログラムとした。本ツアープログラムは令和4年4月からJTB法人営業の商品ラインナップに掲載されている。



複数回の検討会を実施した



現地視察の様子



阿部喜英氏の講話: モニターツアー1日目



石投山ハイキング: モニターツアー2日目



獅子舞鑑賞:モニターツアー3 日目



金華山ハイキング:モニターツアー3 日目

考察、及び今後の展開

モニターツアー参加者からは歩くスピードで様々な情報を得ることができた、学びにつながったという意見や、日頃関わることのない社会人と学生で関わるのが刺激になったという好意的な意見が寄せられ、学習やチームビルディングという視点からも、みちのく潮風トレイルを活用できることが分かった。今回の取り組みを、各地で企業研修・教育研修ツアーを造成する際の知見として活かしていくとともに、株式会社 JTB 仙台支店とは令和 2 年度から協働して事業を実施しているため、今後も関係性を維持したい。

事業費 (受託金額)	7,885,000 円	経費 (人件費含む)	7,949,243 円	売上	(64,243 円)
---------------	-------------	---------------	-------------	----	------------

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-10
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル数珠つなぎハイキング		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元	NPO 自主事業		
関係団体			
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐:森恭平		
実施内容			
【事業概要】			
名取トレイルセンターはサテライト施設として宮城県東松島市～福島県相馬市までの10市町(約170km)を管轄している。名取トレイルセンター管轄区間のルートをハイカーが1日に歩く距離に近い20km程度のコースに分割した上で、全10回で歩き切るハイキングイベントを企画・実施した。			
【目的】			
ロングトレイルの魅力の一つがその長さにある。1日がかりのハイキングイベントを設定することで参加者に長く歩く楽しみを感じていただくと共に、名取トレイルセンター管轄区間を歩き切る達成感を味わっていただき、石巻市以北のトレイルを歩くきっかけにさせていただくことを目的として実施した。			
また、つないで歩くイベントであることからリピーターが生まれやすく、職員と言葉を交わす機会が増すことで、みちのく潮風トレイルの理念についてよりよく理解していただき、みちのく潮風トレイルのファンになっていただくことも目的のひとつとして実施した。			
【実施内容】			
① みちのく潮風トレイル数珠つなぎハイキング			
令和3年度も新型コロナウイルスの影響が長引いたため、本イベントも感染状況が落ち着いた10月に相馬市を出発した。その後も新型コロナウイルスの感染状況やトンガの海底火山噴火等の影響により度々延期を重ねたため、令和3年度時点で亘理町まで北上している。			
(ア) 実施日時及び区間			
① 令和3年10月31日(日)松川浦環境公園～新地駅 参加者:9名			
② 令和3年11月21日(日)新地駅～鹿狼山～新地駅 参加者:5名			
③ 令和3年12月11日(土)新地駅～山下駅 参加者:6名			
④ 令和4年3月5日(土)山下駅～深山～四方山～亘理駅 参加者:10名			



相馬市では相馬野馬追に参加する馬に出会った



四方山ハイキング中の眺望

考察、及び今後の展開

イベントの目的のとおり、複数回参加して下さる方も多く、数珠つなぎハイキング終了後は自ら石巻市以北も北上したいという参加者も出てきた。一方、新規参加者が少ないという現状もあることから、初心者向けに距離を短くしたイベントを設定するなど、みちのく潮風トレイルを歩くきっかけになるイベントの企画を今後も検討していく。(新型コロナウイルス感染拡大の影響や、トンガの海底火山噴火に伴う津波注意報により延期をしており、令和4年度も継続して実施する)

事業費 (イベント収入)	31,000 円	経費 (人件費含む)	21,771 円	売上	9,229 円
-----------------	----------	---------------	----------	----	---------

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-1
事業名	令和3年度みちのく潮風トレイル普及啓発イベント運営等業務		
期間	令和3年10月4日～令和4年3月25日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体			
担当者	業務主任:相澤久美 業務補佐:板橋真美		
実施内容			
【事業概要】			
当初は東京・仙台の2会場で、みちのく潮風トレイルの普及啓発イベントを開催するという事業だったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東京都昭島市にて2月に開催予定だったイベントをオンラインでのトークイベントに急遽切り替えた。2月下旬には仙台駅隣接のエスパル仙台に、「こちら名取トレイルセンター仙台駅前出張所」と題したPRブースを3日間出展した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルの特長や理念等を広く周知し、その利用を促進することで付加価値を高め、広範な関係者の参画や協働ならびに循環型の仕組みづくりを推進することを目的とした。			
【実施内容】			
①オンライントークイベントの開催			
トークイベントタイトル:「みちのく潮風トレイルを歩こう!!」			
日時:令和4年2月5日(土)14:00～16:30			
会場:オンライン 登壇者収録会場:東京都内某所			
(渡邊保護官、板橋、板谷は名取トレイルセンターからZOOMオンライン参加)			
登壇者:			
四角 友里氏(アウトドアスタイルクリエイター)			
高橋 庄太郎氏(山岳・アウトドアライター)			
土屋 智哉(Hikers Depot 代表、NPO 法人みちのくトレイルクラブ理事)			
渡邊 元嗣氏(環境省 東北地方環境事務所 名取自然保護官)			
・進行:相澤久美(NPO 法人みちのくトレイルクラブ常務理事／事務局長)			
・概要説明:板橋真美(同上／事務局次長)			
・質問コーナーサポート:板谷学(名取トレイルセンター センター長)			
プログラム			
0. みちのく潮風トレイル憲章動画			
1. 開会挨拶			
2. 「みちのく潮風トレイルについて」			
3. 第一部:クロストーク			
(休憩)			
4. 第二部:質問コーナー			
6. 閉会挨拶			

※オンライントークイベント「みちのく潮風トレイルを歩こう！」は、
 下記の URL または QR コードからアーカイブ映像をご覧ください。
 名取トレイルセンターYouTube チャンネル
<https://youtu.be/mmnfNJSlxA>



(右から) 高橋庄太郎氏、四角友里氏、
 土屋智哉、相澤久美



みちのく潮風トレイルを歩いた時の思い出話を
 披露する高橋氏



Hiking Map Book について話す四角氏と土屋



YouTube 画面イメージ
 ※左下のワイプ画面は名取トレイルセンターの配
 信会場で話す渡邊自然保護官

②エスパル仙台でのイベント開催

日時: 令和 4 年 2 月 25 日 (金) ~ 27 日 (日) 11:00 ~ 19:00

会場: エスパル仙台東館 2 階 青の葉デイリーマーケット協設スペース

内容: 環境省レンジャー、名取トレイルセンタースタッフによる、「みちのく潮風トレイル」と「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター」の案内、資料の展示、映像の上映、チラシ等の配布を行った。会場では「抽選券」を来場者に配布し、名取トレイルセンターに持参して Hiking Map Book や Tシャツ等のオリジナルグッズが当たる抽選会に参加するよう促した。



仙台駅東西自由通路に面したスペース



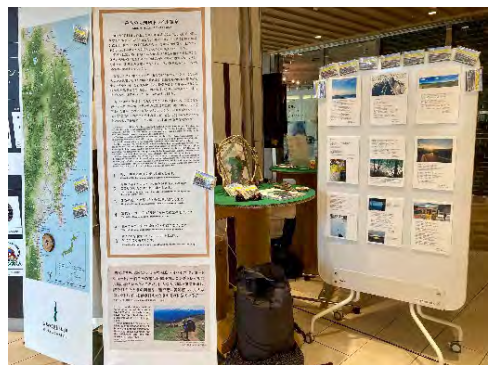
既存のツールを活かした会場設営



PR 動画前で足を止める人々の姿



板谷センター長による解説



東北地図とトレイル憲章
ハイカーからのメッセージを展示した。



プレオープン中の野営場の周知を図った。

考察、及び今後の展開

新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、予定していた東京都昭島市のモリパーク・アウトドアヴィレッジにおける 3 日間にわたるイベントは中止となり、トークイベントをオンラインのみで実施した。当初、実会場での実施におけるトークイベントは、申込受付開始後 2 日程度で 100 名の定員に達し、キャンセル待ちの申し込みがあるほどで立ち席用意の検討もしており、また、久しぶりに関東でのみちのく潮風トレイルの PR をできる機会でもあり、旅行会社の訪問やメディアの取材も予想されていたため、中止は非常に残念であった。一方で、オンライン開催となったことで、より多くの幅広の方々に内容をお届けすることができた上、オンライン配信への心理的ハードルも下がったので、今後もオンラインを活用していくための良いきっかけとなった。

また、仙台会場は、仙台駅に併設されるエスパル仙台での開催となり、週末で人通りも多く、広範な方に「みちのく潮風トレイル」という文字を目にさせていただけた。また、ポケットティッシュを配布し、名取トレイルセンターへの誘客につなげ、センターにて詳細のご説明等できるように工夫した点は新しい取り組みであった。東北最大の人口を有する仙台でのみちのく潮風トレイルの認知度はまだまだ高まっていないため、仙台をターゲットとした普及啓発活動は今後も有効であり、今回キャンセルになった東京や、東北の新幹線主要駅などでもイベントを行う機会があればさらに多くの方に知っていただけるよう尽力したい。

事業費 (受託金額)	1,969,000 円	経費 (人件費含む)	1,597,104 円	売上	371,896 円
---------------	-------------	---------------	-------------	----	-----------

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-2
事業名 業務名	地球環境基金助成事業		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
助成先	地球環境基金		
関係団体	ハイランドデザイン、ACプロモート、体験村たのはた・ネットワーク、浄土日和、大船渡市観光物産協会、海の自然史研究所、第一生命他		
担当者	業務主任:相澤久美 主担当:西澤美幸 補佐:関博充、板谷学、板橋真美、森恭平		
実施内容			
【事業概要】 令和元年度から地球環境基金の助成を受けて、「ハイカーが安全・安心に歩くための情報提供」及び「地域の受入体制強化(路体整備やおもてなし文化醸成)」に繋がる活動を行ってきた。令和3年度は、3年間の活動期間の最終年度として、これまでの活動の継続に加えて、ホームページの利用者動向の分析、みちのく潮風トレイルサポーターズのホームページへの掲載、企業主催清掃活動の開催支援など、レベルアップした活動を行った。			
【目的】 みちのく潮風トレイルは、まだ認知度が低く、沿線地域でハイカーを受け入れるための体制も整っておらず、整備の行き届かない路体も存在している。今後、より多くのハイカーに訪れてもらい、持続可能なトレイル運営の実現を目指すには、安全・安心に歩くための情報提供や路体の整備体制強化、ハイカーと地域住民らのスムーズな交流促進、そのための地域住民へのトレイルの浸透が必要であり、それらを促進することを目的に本事業を実施した。			
【実施内容】 ① Data Book の作成 Data Book は令和2年度に第1版が完成し、令和3年4月から販売を開始した。 ② ホームページの作成(内容拡充)及び利用者動向の分析 ③ みちのく潮風トレイルサポーターズの情報収集及びホームページへの掲載 https://m-tc.org/community/conservation/supporters/ ④ 沿線5箇所で開催 (ア) 令和3年6月19日(土)～6月20日(日) テーマ:トレイルとカヤックの楽しみ方 開催地:岩泉町、参加者数:31名(2日間延べ) (イ) 令和3年11月13日(土) テーマ:なすびさんの旅の思い出 開催地:気仙沼市、参加者数:23名 (ウ) 令和3年12月11日(日) テーマ:ハイカーとの交流			

開催地:洋野町、参加者数:35 名

(エ) 令和 4 年 3 月 13 日(日)

テーマ:石巻市・女川町のルート紹介、ヤマビルを知る

開催地:石巻市、参加者数:17 名、オンライン配信実施

(オ) 令和 4 年 3 月 19 日(土)

テーマ:トレイルの歩き方(初心者と踏破者からの視点で)

開催地:名取市、参加者数:17 名、オンライン配信実施

⑤ 整備ボランティアに対する整備活動情報の発信

整備活動情報の発信 9 回(整備活動 16 回、438 名参加)

⑥ 企業主催清掃活動の開催支援

第一生命保険㈱の 7 営業オフィス主催によるトレイル清掃活動(令和 3 年 10 月 2 日(土)青森県・岩手県 6 箇所で開催、同月 30 日(土)相馬市で開催)



6/26 山元町での整備活動



6/27 亘理町での整備活動

地域スポット

◆第一生命保険盛岡支社、潮風トレイルコースを清掃 盛岡市の第一生命保険盛岡支社(高橋博樹支社長)は2日、宮古、久慈、釜石、大船渡の沿岸4市でみちのく潮風トレイルコースの清掃活動を行い、環境保全に貢献した。

4市で計188人が参加。宮古市赤前の海岸清掃では、同社員のほか近くに事業所を構える企業の従業員ら約70人が、打ち寄せられたごみや漁具などを拾い集めた＝写真。

社員17人が参加した山田町の水産加工業川秀の川端徳子主任は「捨てられたと思われるごみも多かった。会社にとっても海は資源なので協力した」と汗をぬぐった。

新聞記事に掲載された第一生命のみちのく潮風トレイルコースの一斉清掃



6/19～20 岩泉町開催ブロックフォーラム



11/13 気仙沼市開催ブロックフォーラム



12/11 洋野町開催ブロックフォーラム



3/13 石巻市開催ブロックフォーラム



3/19 名取市開催ブロックフォーラム

考察、及び今後の展開

地球環境基金の助成を受けて活動を 3 年間継続した成果として、地域にトレイル文化を根付かせるための土壌ができた。ブロックフォーラムは 3 年間計 11 箇所で開催し、参加者の中からはトレイルを歩きはじめる方や整備活動への協力、サポーターズに登録してくださる方も生まれ、トレイルの利用促進と地域への浸透の両方に繋がったと言える。令和 3 年度で助成は終了となるが、本活動が Data Book 等の商品の販売や、トレイルの認知度向上に伴う会員の獲得にも結び付いているため、次年度以降も引き続きトレイル文化醸成とトレイルの認知度向上のための活動を継続し、必要とされる「利用者への情報提供」と「地域の受入体制強化」を進めていきたい。

事業費 (受託金額)	4,400,000 円	経費 (人件費含む)	4,598,439 円	売上	(198,439 円)
---------------	-------------	---------------	-------------	----	-------------

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-3
事業名	名取市協働提案事業		
業務名	増田川ハイキングマップ作成事業		
期間	令和3年4月1日～令和4年2月28日		
委託元	名取市		
関係団体	名取市、キラキラパルク西益田、ゆりりん愛護会、仙台高等専門学校		
担当者	業務主任:関博充 業務補佐:森恭平		
実施内容			
【事業概要】			
名取市の身近な自然や地域の魅力に触れる機会を、ハイキングを通じて創出するために、広浦から五社山までの増田川沿いの自然の特徴や地域の身近なもの等を掲載するハイキングマップを作成した。			
【目的】			
増田川沿いの自然環境や魅力地点については、過去に作成された資料が複数あるが、増田川全流域沿いを歩けることを示したものはなかった。また、実際に歩こうとした場合、具体的にどこから歩きはじめ、何キロ歩き、どの程度の時間がかかるか、などの、歩くための情報も不足していた。土地勘の無いものにとっては、歩ける場所と認識できないため、増田川全域の自然や魅力に、歩きながら触れる機会を提供できていなかったため、歩くために必要な情報、周辺の魅力等を掲載したマップを作成し、川沿いを歩く人の増加を目的とした。地域内外のより多くの方が当該ルートを歩くことで、歩くことで得られる気づきをもって地域をよりよく理解してもらうこと、それが様々な形で名取市の今後に資すること等を目的とし実施した。			
【実施内容】			
① 現地視察、②掲載情報の収集と整理、③ハイキングマップに掲載する情報の収集と整理、④ハイキングマップのデザイン案の作成、⑤ハイキングマップに掲載するイラスト・画像の収集、作成依頼、⑥ハイキングマップに掲載する自然・歴史等に関する地域団体へのヒアリング、⑦ハイキングマップ作成にかかるデザイナー、印刷業者への指示			
			
現地視察		地域団体へのヒアリング	



完成したマップ(表面)



完成したマップ(裏面)

考察、及び今後の展開

東は名取市サイクルスポーツセンター、西は上流端入口、をそれぞれ起終点とした増田川沿いのハイキングルートの設定、ルート上にある橋間及び全線の歩行距離、ルートの標高図、ルート沿線の興味地点・便益施設等の情報、ルート上から見える景色・自然環境・産業の解説文、ルートへのアクセス情報、歩行上の注意情報、増田川自体の解説文、大規模改修前の増田川の流路、を1枚のマップにまとめることができた。また、津波と同様、洪水も後世に伝えるべき情報と捉え、自然の恵みと災いを伝えられる内容になった。

マップ作成に協力いただいた団体やその他市内の関係者と連携し、このハイキングマップを活用した企画を検討したい。

事業費 (受託金額)	500,000 円	経費 (人件費含む)	676,673 円	売上	(176,673 円)
---------------	-----------	---------------	-----------	----	-------------

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-4
事業名 業務名	三陸国際芸術祭／アーツライブいわて 三陸 A.I.R. (石川直樹・森下真樹)		
期間	令和3年7月1日～令和3年9月19日		
委託元	三陸国際芸術推進委員会、文化庁		
関係団体	NPO 法人いわてアートサポートセンター		
担当者	業務主任:相澤久美		
実施内容			
【事業概要】			
みちのく潮風トレイルを旅する写真家・石川直樹と、旅路(岩泉～宮古)に加わるダンサー・森下真樹の二人がトレイルを歩き、目にし、感じた三陸の自然を、写真と身体で表現する特別なパフォーマンスが実施された。震災から10年の三陸を旅する、写真家とダンサー、それぞれの視点から描かれる三陸の姿を、度重なる災害を乗り越えてきた旧東屋酒造店(国有形登録文化財)の蔵にて鑑賞する機会が提供された。			
【目的】			
本企画はアーツライブいわてと三陸国際芸術祭とが連携して行う三陸沿岸での国内アーティスト・イン・レジデンス事業で、三陸を生活・文化・自然等を体験しながら、震災から未来に届けたい「三陸の文化や生活の姿」を、アーティストの視点で切り取り、未来に届けるプロジェクトであった。みちのく潮風トレイルをアーティストが活用して事業展開する事例はおそらく初めてでありより幅広い層にトレイルを周知し、また活用してもらえる可能性を示すことを目的とし協力した。			
【実施内容】			
MCTを歩く写真家・石川直樹氏にトレイルを歩くために必要な情報を提供した。			
石川直樹・森下真樹  アーツライブいわて2021-三陸A.I.R. PHOTO/DANCE ～みちのく潮風トレイル、歩く旅から～			
考察、及び今後の展開			
今回の事業をきっかけに、石川氏は MCT の全線踏破と写真展や写真集の発行を計画している。今後も、三陸沿岸のアートプロジェクト等との連携や各地のアーティストとの連携も進めていけるとよい。文化的側面からロングトレイルを捉え表現する試みを今後も継続する。			
事業費 (寄付金額)	110,000 円 (今期末収)	経費 (人件費含む)	0 円 売上 110,000 円

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-5
事業名	ハイキング相談会		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元			
関係団体			
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐: 森恭平		
実施内容			
【事業概要】			
みちのく潮風トレイルをこれから歩きたいと思っている方、既に歩き始めている方、興味を持っている方、すべての方を対象にした事前予約制のハイキング相談会を開催した。			
【目的】			
ハイキングの計画の立て方、装備についての問い合わせが多く、より具体的に掘り下げた内容でご相談が出来るように、ハイキングの個別相談会を開催した。丁寧な説明を心がけることで、一人でもトレイル、ハイキングのファンを増やし、東北にその文化を根付かせることを目的としている。今年度はコロナ禍のため、オンラインとセンターいずれでも対応可能とした。			
【実施内容】			
メールや電話等で申し込みを受け付け、スルーハイク経験のあるスタッフ(主担当:板谷)が1回あたり 45 分間、事前にヒアリングした相談内容に沿って利用者に役立つ情報等をお伝えした。また、主に板谷の勤務日をInstagramにて「ハイキング相談可能日」として定期的に告知し、広報に努めた。令和3年度は3回(10/10、10/17、11/17)開催した。			
Instagram ストーリーズでの 予約可能日告知 →  			
考察、及び今後の展開			
今後ハイカーの数が増加するにつれ、歩き方や計画に関する問い合わせも増え、このように経験豊富なスタッフが丁寧に話を聞く個別相談会はトレイルセンターらしさがあり、ハイカーに喜んでいただける事業であろうと考える。しかしながら、センタースタッフの誰もがハイカーからの基本的な質問に答えられるよう、スタッフ間で最新の情報を共有すること等も大切で、引き続きハイカーに向けた分かり易い情報発信を行うことが重要であると考え。これら双方を大事にしながら今後もハイカーの相談に丁寧に向き合いたい。			

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-6
事業名	館内イベント		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元			
関係団体			
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐: 森恭平、板橋真美		
実施内容			
【事業概要】			
名取トレイルセンター館内で各種イベントを開催した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルやハイキング文化に馴染みが薄い方には最初のきっかけとして、みちのく潮風トレイルを既に歩いた方には共感やさらに深い繋がりを得てもらえるよう、名取トレイルセンター館内で写真展やハイカーによるトークイベントを開催している。また、昨年度に引き続きハイキング中などに起こる、不意の怪我に対する応急処置方法を学ぶ講習会を開催した。			
【実施内容】			
①地現 葉子 写真展「徒歩景色」および関連イベントの開催			
(1)開催期間:令和3年10月3日～令和4年3月31日			
＜地現 葉子氏プロフィール＞			
広島県生まれ。現在は東京都心で暮らしながら、どこか美しい場所への移住を夢見ている。2009年より写真家として写真展などの活動を始める。2017年にニュージーランドの長距離ハイキングコース「Te Araroa Trail」を歩いたことがきっかけで、歩きながら写真を撮るシリーズを続けている。			
(2)写真展関連イベント第一弾「地現 葉子&ハイカー座談会」			
4名のハイカーが、みちのくトレイルを歩いたきっかけや、最も印象に残った出来事、歩いた後に変化したことなどを地現氏の進行のもと、クロストークした。			
開催日:令和3年10月3日			
登壇者:地現 葉子氏(正会員／写真家)、土合 充夫氏(全線踏破ハイカー)、板谷 学、森 恭平、石井 宏之(名取トレイルセンタースタッフ)			
参加者:15名			
(3)ハイカートークイベント第二弾「WE LOVE HIKING」～歩き倒したその先に～			
海外のロングハイキングを経験した3人のハイカーが集まり、愛に溢れたトークを繰り広げた。			
開催日:令和3年12月4日			
登壇者:地現 葉子氏(正会員／ハイカー)、本間 馨氏(応援会員／ハイカー)、丹生 茂義(名取トレイルセンタースタッフ)			
参加者:11名			
②ハイカートークイベント「Continental Divide Trail」～Long distance hiking 2021～			

アメリカのコンチネンタル・ディバイド・トレイル (Continental Divide Trail) という 5,000km におよぶロングトレイルを 2021 年の春から秋にかけてスルーハイキングしたハイカーによるトークイベント。日常の生活では決して味わえないロングハイキングの魅力を写真や映像と共に振り返った。

開催日: 令和 4 年 3 月 12 日

登壇者: 丹生 茂義 (名取トレイルセンタースタッフ)

参加者: 11 名



10/3～3/31 地現 葉子 写真展「徒歩景色」
厳選写真 61 枚が展示された。



10/3 地現 葉子&ハイカー座談会



12/4「WE LOVE HIKING」
～歩き倒したその先に～



3/12「Continental Divide Trail」
～Long distance hiking 2021～

③みちのく潮風トレイルを歩く時に役立つファーストエイド・ボディケア講習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度末から延期されていたファーストエイド・ボディケア講習会 (3 回シリーズ) を 2 回目より開催し、下半期に再度、同講座 3 回を実施した。

講師: 本間 一宇氏 (応援会員 / メディック・ファーストエイド (MFA) インストラクター)

- 令和 3 年 5 月 30 日 第 2 回「ファーストエイド講習②」
参加者: 8 名
- 令和 3 年 6 月 26 日 第 3 回「ファーストエイド講習③・ハイカーの為のボディケア」
参加者: 11 名
- 令和 3 年 10 月 10 日 第 1 回「ファーストエイド講習①」
参加者: 3 名

- ・ 令和3年11月14日 第2回「ファーストエイド講習②」
参加者:4名
- ・ 令和4年1月22日 第3回「ファーストエイド講習③・ハイカーの為のボディケア」
参加者:3名



考察、及び今後の展開

10月からの半年間開催した地現葉子氏の写真展では、モノクローム写真で切り取られたみちのく潮風トレイルの風景に来館者が足を止めて見入っている姿が印象的だった。また、地現氏が司会を務めるハイカートークイベントを2回開催した。大学生などハイカー以外の参加者もあり、みちのく潮風トレイルやハイキング文化に触れていただく良い機会であったと思う。ファーストエイド・ボディケア講習会は昨年度から継続して本間一字氏に講師を務めていただいた。HPを見て県外から受講しに来られた方もいて、ファーストエイドの知識やスキルの習得を求めている方が多くいらっしゃったと感じた。年度後半は新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い参加人数が減少したが、来年度もマンネリ化しないよう企画内容を見直しながらか継続して開催していきたい。

事業費 (受託金額)	44,000 円	経費 (人件費含む)	688,347 円	売上	(644,347円)
---------------	----------	---------------	-----------	----	-------------

事業種別	(4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-7
事業名 業務名	おでかけみちこ／まいにちみちこ		
期間	令和3年8月25日、11月25日、2月25日		
委託元			
関係団体	川口印刷、環境省		
担当者	業務主任:相澤久美		
実施内容			
【事業概要】			
東北6県及び新潟県の道の駅に配布される『おでかけ・みちこ』という紙媒体(発行部数10万部)に環境省のアクティブレンジャー日記の記事を『みちのく潮風トレイルを歩きに行こう』とのタイトルで転載。みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターや当法人のHPリンク、Hiking Map Bookの販売サイトへのリンクをQRコードで示したページをタイアップ広告記事として掲載した。また東北「道の駅」公式サイト、『まいにち・みちこ』では、同HPのコンテンツのひとつ「マイみちスト記事」にて、2名のスルーハイカーによるみちのく潮風トレイル連載記事を掲載していただいた。			
【目的】			
三陸自動車道ができ、沿岸部への人の流れは変化しつつある。ドライブの途中で立ち寄られていた、小さな集落の食堂や商店は明らかに人の流れが少なくなったと聞く。みちのく潮風トレイルは沿岸部を歩く旅であり人の流れを生み出し続ける装置でもあるため、自動車で移動する方々が立ち寄る道の駅で頒布される媒体に記事を掲載することで、存在を周知し、車で沿岸部に訪れ、歩いてくれる方々の数を増やすことを目的とした。			
【実施内容】			
『おでかけ・みちこ』では、8月25日号、11月25日号、2月25日号の3号分、八戸の大友氏、宮古の古舘氏、大船渡の坂本氏が執筆したアクティブレンジャー日記を掲載した。			
『まいにち・みちこ』では、MCT をスルーハイクした加藤正芳理事による『みちのく潮風トレイル～全線1,025キロを踏破して～』と、現時点での最年少スルーハイカーによる、『18歳、旅したみちのく』の2本の連載記事が掲載された。加藤理事の連載は2月24日に全24回で終了し、『18歳、旅したみちのく』は継続中で、八戸をスタートし普代村までのエピソードが掲載されている。			
考察、及び今後の展開			
宣伝効果の程を図る術が現時点ではないのが悩ましいが、川口印刷に届く反響については今後確認する。HPに関しては検索しても上位には上がらないためSEO対策について今後相談する。次年度も道の駅との連携を模索し自動車で東北を観光する方々のトレイルへの誘導を図りたい。コロナ禍で自然の中での活動等人々の興味関心が高い内に効果的なPRを施す。			



夏に川魚釣りに出かける。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。



釣り好きの心をくみかねない。

有馬川八景の1景、橋島橋が夏まで「有馬川八景」の1景として、橋島と川を一望できる。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。

有馬川八景の1景、橋島橋が夏まで「有馬川八景」の1景として、橋島と川を一望できる。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。

有馬川八景の1景、橋島橋が夏まで「有馬川八景」の1景として、橋島と川を一望できる。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。

有馬川八景の1景、橋島橋が夏まで「有馬川八景」の1景として、橋島と川を一望できる。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。

有馬川八景の1景、橋島橋が夏まで「有馬川八景」の1景として、橋島と川を一望できる。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。夏は川魚釣りにピッタリな季節です。

左下:加藤正芳氏連載
『みちのく潮風トレイル
～全線 1,025 キロを踏破して』

右下:松野にこ氏連載
『18歳、旅したみちのく』

事業費 (受託金額)	0 円	経費 (人件費含む)	352,281 円	売上	(352,281 円)
---------------	-----	---------------	-----------	----	-------------

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-8
事業名 業務名	広報に関わる取り組み:インスタグラムにおけるトレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業		
期間	令和3年6月1日～令和4年3月31日		
委託元			
関係団体			
関係団体	業務主任:板橋 主担当:石井宏之 補佐:トマス・アンナ、Jules Cossment		
実施内容			
【事業概要】			
令和3年6月1日より、本格的にインスタグラムにおける情報発信を開始した。みちのく潮風トレイルを歩くことで感じられる自然や文化を中心に、ハイキングイベントの告知や名取トレイルセンターを訪れたハイカーの紹介、ルート変更や鹿撃ちなどがあった際の注意情報などを投稿した。今年度はフランス人のインターン生も参加し、海外(主にフランス)での広報にも取り組んだ。ウィキペディアの記事も作成し、英語版 Wikipedia にみちのく潮風トレイルを掲載した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルをより多くの人に知ってもらうことを目的として実施した。これまでフェイスブックやみちのくトレイルクラブのHPにおいて同様の情報発信はしていたが、より若い層や海外の方にも届けるために始めた取り組みである。また、自然災害や道路工事などでルート変更があった際に、迅速に利用者に周知するための手段としても有効に機能させるため実施した。また、ウィキペディアは基礎情報を伝えることを目的として記事作成を行った。			
【実施内容】			
① 定期投稿…毎週土曜日に一枚のペースで、歩いている時に見える景色等を中心に投稿			
② みちのくトレイルクラブが関わるイベントの告知や報告			
③ みちのく潮風トレイルを取り扱ったメディア等の紹介			
④ 名取トレイルセンターを訪れたハイカーの紹介			
⑤ 注意情報や臨時情報の投稿			
⑥ ウィキペディアへの記事投稿			
https://en.wikipedia.org/wiki/Michinoku_Coastal_Trail			
			
① 定期投稿		② イベントの告知や報告	



③ メディア等の紹介



④ ハイカーの紹介



⑤ 注意情報



⑤ 臨時休館

考察、及び今後の展開

昨年の6月から今年の3月までの間に約300人フォロワー増加した。これらフォロワーを潜在的なファンとし、引きつづきより多くのファンを獲得するとともに、ハイカーにとって有用な情報を発信していきたい。今後は分析ツール「インサイト」をより積極的に活用し、情報の精度を高めるとともに、みちのく潮風トレイルを歩くハイカーの声を拾うなどして、トレイルの運用改善にも役立てたいと考えている。

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-9	
事業名	講師登壇・招へい事業、メディア掲載等			
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日			
委託元				
関係団体				
担当者	業務主任:相澤久美 業務補佐:板橋真美、石井宏之			
実施内容				
【事業概要】				
各地で講師登壇の依頼受け入れ・招へい事業への参加を実施した。また、新聞、ラジオ、テレビ等への積極的なアプローチを行った。				
【目的】				
みちのく潮風トレイルを多くの方に知っていただき、歩きにきていただき、みちのく潮風トレイルの持続的運営につなげることを目的として各地で講演等を実施した。また、メディアへの露出も同様の目的をもって取り組んだ。				
【実施内容】				
みちのく潮風トレイルの周知・広報活動として、講演等を行った。				
① 講演会等での発表、招へい事業等(17回)				
年月日	講演会等名称	開催地	講演題目	参加人数
2021/5/13	九州自然歩道 40 周年記念シンポジウム	オンライン	九州を歩こう！「歩く旅」がつくる持続可能な地域と観光～九州自然歩道の新しい一歩～(担当:相澤)	1,067
2021/5/15	札幌ラウンドウォーク	札幌	道標設置へのアドバイス(担当:相澤)	15
2021/5/26	Trail town MIYAKO シンポジウム	宮古市	～ハイカーが集う街づくりへ～(担当:関)	40
2021/5/30	日本地球惑星科学連合 2021	オンライン	みちのく潮風トレイルの取組(担当:関)	100
2021/9/28	Trail town MIYAKO シンポジウム	宮古市	宮古をトレイルタウンへ(担当:関)	20
2021/12/6	清里ミーティング	オンライン	みちのく潮風トレイルについて(担当:西澤)	50
2022/1/16	阿蘇山上 VC 意見交換会	熊本	(現地視察及び意見交換会) みちのく潮風トレイル(三陸復興国立公園)における取組(担当:相澤)	14
2022/1/19	大曲まちづくり講演会	東松島市	みちのく潮風トレイルと地域での取組について(担当:西澤)	40
2022/1/20	オングス5周年フォーラム	オンライン	みちのく潮風トレイルの利用実態 (担当:相澤)	

2022/1/22	九州自然歩道宮崎ルートの 今と未来を語るトークイベント	オンライン	「みちのく潮風トレイル」(担当:相澤)	918
2022/2/24	JATA の道プロジェクト総括	宮城県	「みちのく潮風トレイルの魅力」(担当:相澤)	100
2022/2/26	全国アート NPO フォーラム in 熱海／アートツーリズム を再考する	熱海／オン ライン	みちのく潮風トレイルの概要 The world reveals itself to those who travel on foot (担当:相澤)	50
2022/3/9～10	山陰海岸ジオパークトレイ ルの魅力と活用 現地視察報告・勉強会	鳥取、島根、 兵庫	(現地視察及び勉強会) “みちのく潮風トレイル”のみなさんをお 迎えして！／ロングトレイル の活用につ いて(担当:相澤)	50
2022/3/2	八戸十和田湖トレイル(仮) 勉強会	オンライン	みちのく潮風トレイルの事例紹介 (担当:相澤、関、板橋)	10
2022_3/5	令和 3 年度ロングトレイル の維持管理・運営システム 構築に向けたあり方検討 業務 検討会	オンライン	今、長く歩く、ということ (担当:相澤)	1.095
2022/3/6	HYBRID EVENT Landscape and Lore along Eastern Tohoku's Michinoku Coastal Trail (JNTO／復興庁他)	ロンドン オンライン	Introducing Michinoku Coastal Trail (担当:相澤)	100
2022/3/29	みやぎ防災林対話会	宮城県	話題共有「みちのく潮風トレイルについ て」(担当:西澤美幸)	

②露出メディア一覧

1.新聞(32 件)

年月日	掲載紙	タイトル
2021/6/18	河北新報	交流の森づくり目指す トレイルセンターで植樹
2021/6/21	岩手日報	潮風トレイルの魅力探る
2021/9/14	福島民報	潮風と絶景 歩いて満喫 相馬沿岸でイベント
2021/9/21	岩手日報	潮風トレイルから創造的刺激
2021/10/2	朝日新聞	「みちのくの人と道に励まされ」なすびさん
2021/10/3	岩手日報	第一生命保険盛岡支社、潮風トレイルコースを清掃
2021/11/8	岩手日報	投稿「潮風トレイルで人生楽しむ」
2021/11/8	岩手日報	三陸の絶景 爽快トレイル
2021/11/11	デーリー東北	八戸東高生映像制作、八戸の潮風トレイル PR
2021/11/14	河北新報	潮風トレイル魅力体感 気仙沼 なすびさん
2021/11/16	三陸新報	なすびさんと楽しく 潮風トレイル歩く

2021/11/23	福島民報	浜街道トレイル体感 現地でモニターツアー
2021/11/29	福島民報	なすびさん 200km 踏破
2021/11/30	岩手日報	普代村が北三陸周遊ツアー(トレガス)
2021/12/6	河北新報	関上・トレイルセンターにエリア整備
2021/12/9	河北新報	みちのく潮風トレイル・名取ルート
2021/12/12	デーリー東北	王林さんと学ぶ「防災・減災」八戸
2022/1/24	岩手日報	トレイル応援店 PR 宮古市、タペストリーを配布
2022/1/28	東海新報	旅の道しるべ
2022/1/30	東海新報	オリジナルマップを制作 たかたコンテンツらぼ みちのく潮風トレイルを紹介
2022/2/1	デーリー東北	みちのく潮風トレイルで王林さんと学ぶ「防災・減災」
2022/2/1	東海新報	陸前高田市ルート⑥広田町黒崎ー同町大祝
2022/2/2	東海新報	トレイル用のスタンプ作成
2022/2/3	岩手日報	陸前高田の潮風トレイル 寄り道もまた楽し
2022/3/4	東海新報	広田小がトレイルマップ第二弾制作
2022/3/4	岩手日報	見どころ満載トレイルマップ広田小 6 年
2022/3/7	観光経済新聞	道がつくる地域の未来(執筆担当:相澤)
2022/3/12	毎日新聞(三重県版)	東北の自然 上手に活用を
2022/3/17	岩手日報 #mekke 3/17 号 (vol.77)	三陸沿岸で楽しむアドベンチャートレイル
2022/3/30	東海新報	潮風トレイル 魅力再発見へ

2.雑誌(10 件)

年月日	掲載誌	タイトル
2022/1/25	S-style 1/25 号	女川モニターツアーレポート
2022/2/25	S-style 2/25 号	「健脚部」活動報告
	みやぎイベントジョイ	名取トレイルセンター野営場
2022/3/15	FRaU	三陸復興国立公園 海の恵みと人と街。みちのく沿岸を歩く
2022/3/31	フィールドライフ No.75	シェルパ斉藤のニッポンの山をバックパッキング 早春の低山縦走＝みちのく潮風トレイルを歩く
2022/2/21	日経グローカル	長引くコロナ禍、ロングトレイルに脚光
2021/8,11,2	おでかけ・みちこ	みちのく潮風トレイルを歩こう！

3.テレビ(4 件)

放送年月日	放送局、番組名	タイトル
2021/5/1	岩手めんこいテレビ「山・海・	みちのく潮風トレイル 田野畑～岩泉 編

	漬」	
2021/9/18	岩手めんこいテレビ「山・海・漬」	みちのく潮風トレイル 宮古 編
2021/10/2	IBC 岩手放送「IBC NEWS」	1000キロ以上の遊歩道「みちのく潮風トレイル」クリーン活動／岩手・宮古市
2021/10/22	宮城テレビ	閑上地区に新キャンプ場

4.ラジオ(3 件)

放送年月日	放送局、番組名	タイトル
2022/2/1	なとラジ	こんにちわ！しろうです。(名取市長との対談番組)
2022/2/1	ラジオ 3	マイタウン RADIO
2021/9/30	ラジオ FM いわき「いわきの歴史」	「歴史を現代に活かす取り組みについて～浜通りの「道」～」

5.Web(4 件)

配信年月日	配信媒体名	タイトル
2021/9/13	宮城丸ごと探訪(宮城県観光連盟 HP)	キャンプ場特集(名取トレイルセンター野営場紹介)
2021 /10/12	八戸テレビ放送 YouTube「HTV 週間トピックス」	第一生命保険 種差海岸清掃
2022/2/25	LIVE JAPAN Perfect guide	日本最長クラス！東北の海絶景を満喫できる「みちのく潮風トレイル」
2022/3/24	CSF Voices	過去と現在をつなぐ道 みちのく潮風トレイル

6.海外メディア(2 件)

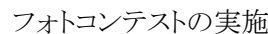
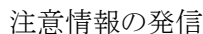
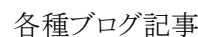
放送年月日	放送局、番組名	タイトル
2021/11/9	BBC Travel	The Michinoku Coastal Trail: Japan's new 1,000km path
2021/11/30	South China Morning Post	Japan's new 1,000km hiking trail has inspirational lesson on resilience

考察、及び今後の展開

講師登壇、招聘事業は年を追うごとに増えている。みちのく潮風トレイルの PR だけでなく、みちのく潮風トレイルを先進事例として学びたいという要望も増えている。先進地と言っても MCT はまだ試行錯誤の段階であり、謙虚であることは大事である。先輩トレイルや各地の新しいトレイルの取り組みから学ぶ姿勢を持ち日々取り組むべきであることを職員の間では共有しておきたい。また、環境省の支援を受け運営している恵まれたトレイルであることも忘れてはならない。メディアでの露出も継続的にあるが全ての記事を追うのが難しく、関係者への協力を呼びかけている。海外メディアでの露出については、コロナ収束を見据え引き続き積極的に取り組んでいきたい。

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-10		
事業名	ポスター印刷(6 種)				
業務名	モデルコースパンフ印刷				
期間	令和 3 年				
委託元					
関係団体					
担当者	業務主任:相澤久美				
実施内容					
【事業概要】					
過年度に環境省業務で作成したポスターとモデルコースのパンフレットを印刷し、ポスターは運営計画構成員や地元協力者等へ、モデルコースパンフは旅行会社等へ頒布した。					
【目的】					
MCT の認知を高めより多くの方に訪問していただき、三陸沿岸の地域振興に資するため。					
【実施内容】					
環境省業務で作成したこれら PR 媒体は、データ納品となっており、その後の活用は自由とされていたため、ポスター6種は印刷し関係者に配布することで MCT の地元等での認知を高めるため、また、モデルコースパンフは旅行会社等がツアー造成をする際の参考にしていただくために印刷し配布した。					
					
考察、及び今後の展開					
令和 2 年度に作成されたポスター及びモデルコースパンフだったが、印刷機会を逃していたため印刷した。制作した PR ツールを有効に生かせるよう、各地、各社に配布する。ポスターは憲章が記載されたバージョンも日英で制作してあるため、みちのく潮風トレイルの理念を多くに理解していただくためにも、掲示箇所を増やしていきたい。					
事業費 (寄付金額)	0 円	経費 (人件費含む)	196,100 円	売上	(196,100 円)

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び 情報発信事業	事業 番号	(1.4)-11
事業名 業務名	広報に関わる取り組み:ホームページ、フェイスブックの運用		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元			
関係団体			
関係団体	業務主任:相澤 主担当:森恭平 更新:全職員 英語対応:トマス・アンナ		
実施内容			
【事業概要】			
地球環境基金の助成金で作成したホームページ、フェイスブックの運用を行なった。MCT 運営計画構成員等から寄せられる各種情報の更新(環境省業務)の他、各種イベント情報、ハイキングに関する啓発、文化情報発信等を行なった。ハイカーの旅をサポートしてくれる沿線施設(サポーターズ)の情報も収集し掲載した。また、年賀寄付金の助成金で作成したハイキングパスポートの情報掲載や、フォトギャラリーのページではフォトコンテストを行い、ハイカーからの写真を募り、それらの写真を活用してオリジナルカレンダーの制作にも取り組んだ。その他、全線踏破挑戦者・踏破者登録、会員募集、寄付募集、運用の始まった野営場の予約サイトへの誘導ページの作成など各種実施した。閲覧数の分析を行い、検索キーワードの上位を確認し、ブログ記事に反映させる等、より多くにみていただけるよう SEO 対策も実施した。			
【目的】			
みちのく潮風トレイルを歩く方々に必要な情報を提供し、ハイカーに安心安全に歩いていただくことを第一の目的としている。また、地域の方々の取り組みを紹介するページや、フォトギャラリー、挑戦者登録など利用者が参加できるページも設け、更新頻度の高い双方向の運営を心がけた。皆で育てる道であることを発信する場とすること、みちのく潮風トレイル憲章を紹介し、みちのく潮風トレイルの存在意義についても伝えるサイトとしてある。			
【実施内容】			
① トレイルに通行に係る注意情報や臨時情報の発信			
② みちのくトレイルクラブに関わるイベントや商品の告知や報告			
③ みちのく潮風トレイルを取り扱ったメディア等の紹介			
④ 名取トレイルセンターを訪れたハイカーの紹介			
⑤ フォトギャラリーの運営			
⑥ 全線踏破挑戦者登録、全線踏破者登録の実施			
⑦ 会員の募集、寄付の募集			

沿線サポーターズの紹介

全線踏破者

(1) 居住地×踏破年度

	2019	2020	2021	合計
東北	0	9	17	26
青森県	0	0	1	1
岩手県	0	1	6	7
秋田県	0	1	0	1
宮城県	0	7	8	15
山形県	0	0	1	1
福島県	0	0	1	1
関東	10	3	9	22
中部	0	0	3	3
近畿	2	1	2	5
中国	0	1	0	1
四国	0	0	2	2
九州	1	0	1	2
海外	2	0	0	2
合計	15	14	34	63

(2) かかった日数×踏破年度

	2019	2020	2021	合計
～90日	6	7	11	24
～180日	1	1	1	3
～1年	1	2	10	13
～2年		3	2	5
～3年			1	1
～4年	2		3	5
～5年	5		3	8
～6年		1	2	3
不明			1	1
合計	15	14	34	63

(3) 歩き方×踏破年度

	2019	2020	2021	合計
南に向かって	8	10	16	34
北に向かって	5	2	10	17
それ以外のルート	2	2	8	12
合計	15	14	34	63

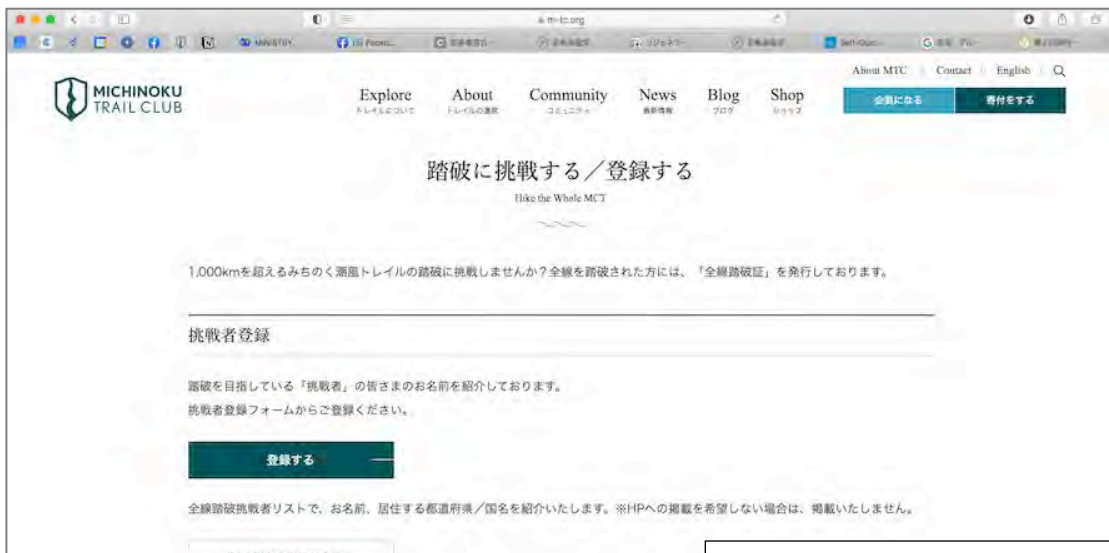
全線踏破挑戦者

(1) 居住地

北海道	3
東北	105
青森県	8
岩手県	17
秋田県	4
宮城県	63
山形県	5
福島県	8
関東	45
中部	6
近畿	2
九州	1
合計	162

(2) 歩き方

南に向かって	54
北に向かって	68
それ以外のルート	34
未定	6
合計	162



HP、SNS 上のハイカーの声

◆Instagram から (@八戸)

トレイルエンジェル Kさんは、トレイルを歩くハイカーを見かけては声をかけ、食事や休憩のサポートをしてくださっている方。

こんにちは～とご挨拶をすると、休んでって！と家の中に招き入れてくれた。

お話を伺うと、誰か歩いて来ないかなと思って、2人分の食事を用意していたとのこと。

小雨が降り、寒い中のトレイルハイクだったので、温かいなめこ汁が心に染みた。

葛巻ワインやリンゴジュース、リポDまでご馳走様になった。

今後は休憩所としてハイカーをサポートしてくださるそう。自分も頑張ろう！

◆Instagram から (@宮古)

異人館さんといえば甘夏パフェ。

ナポリタンも濃厚です。

宮古市内のみちのく潮風トレイルを歩くなら、ぜひお立ち寄りを。

◆Instagram から (@石巻)

初詣はこっこや+釣石神社 (来る前にメリーランド)

みちのく潮風トレイルをスルーハイクした時、軒下で野宿させて貰い、晚餐から朝のおにぎりまでお世話になった場所。やっと御礼参りが叶いました。こっこ屋ばあばもエミちゃんも宮司も、元気でした！

◆Instagram から (@気仙沼)

今朝は降雪の中のスタートです。

気仙沼大島大橋を渡って先ずは亀山を目指します。360度の展望で素晴らしい景色です。NHKのドラマの撮影もしたらしいビーチを抜けて、トレイルコースへ入ります。

この道は今までで一番のトレイルコースでした。

その後、ウェルカムターミナルで遅めのお昼、キッチン花 fe・HATOBA さんで頂きました。味も見た目もお値段も想像以上でした。大島へ行ったらココは絶対外せませんよ。

朝から吹雪、降ったり止んだり晴れたりという天気でしたが、大島一周は1日のトレイルコースとしてはとても良かったです。ホントおススメです!!

◆Instagram から (@八戸)

みちのく潮風トレイルの一部を歩いてきた。

山とは全く違う風景に違和感、新鮮さを感じつつ歩みを進め、漁港で仕事をされている漁師の方々のあたたかい言葉が身に染みる瞬間が多々ありました。

日常的に交差する人々に優しくできる人間であり続けたいと思い返す旅でした。

みちのく潮風トレイルを整備してくださった方々に感謝です。

引き続き、何度か通いながら相馬まで少しずつ歩きます！

◆Instagram から (歩いた人から話を聴いて。この方はまだ歩いていない)

みちのくトレイルから帰ってきたかおるさん ☺

無性に会いたくて、話してすぐ意味不明に泣き出す。

そして話してて気付いたこと。

トレランとかのレースとロングトレイルの大きな違いって終わり方なのかなって。

レースでゴールした瞬間、もう走れない！てか走りたくない！やり切ったー！て感覚とああこの旅は終わってしまうんだ。ていう寂しさ残る感覚。

言うほど両方とも突き詰めてないのだが、低次元で理解していると思う👍

どっちも好きだけど、今はロングトレイル。行ってみたいなあ ☺

◆Instagram から (@釜石から気仙沼)

前回から1ヶ月も経たないうちにまた歩きたくなったのは自分でも意外だったけど、帰ってきてすぐ次の旅程を立て始めた。普段から歩くことへの抵抗感も小さくなって、あん

まり電車に乗らなくなったりした。歩くのが合ってるのかも。今回は釜石から気仙沼まで歩いてきた。

①盛岡から釜石までの電車。

遠野の手前あたり、駅じゃなさそうな場所で電車が止まる。しばらくしてアナウンスが流れる。「ただいま列車の一部がカモシカと衝突しまして、安全確認を行なっております」理由がカモシカ！夜行バスで寝ぼけてた頭でもウケた。20分くらい停まっていた。

釜石は鉄とラグビーと魚の町。駅を出ると目の前に製鉄所があって、煙突からは煙が絶え間なく上がっている。前回歩いた町とは全然雰囲気が違う、工場中心の街並み。でもそんな立地にミッフィーカフェがいきなりあったりして、かなり謎だった。なんの脈絡もなくミッフィーの看板がある。

「どこまで行くの？こっちの道は遠回りだよ」歩いてるとおじさんに声をかけられた。見るからに"THE 旅行者"の格好なので、観光スポットに行くには遠回りの道を歩いている私を心配してくれたみたい。実はみちのく潮風トレイルというのを歩いていて、ルートがあえて遠回りに設定されているみたいなんです、と伝えてお礼を言った。一回自転車で通り過ぎてからわざわざ戻って声をかけてくれた親切な人。ありがたい。私も遠回りだと思います。(後略)

◆Instagram から（全線踏破者）

『みちのく潮風トレイル』54日目 ゴールしました！！🎉

みさご池、相馬神社など周り松川浦まで歩きました👣

ついに終わったのか〜、

歩き通せるとは思ってもなかったですね笑

インドアな人見知りコミュ障でも歩ききれるということが証明できましたね😌

人生で1番心配と同情をされた54日間😅

良き思い出！👏

青森県八戸市から福島県相馬市まで、東北の方々に感謝と幸あれって感じです！❤

東北またいつか！👏

しばし禁酒。マジで。

◆Facebook から（@新地から亘理）

穏やかなお天気の中、セクションハイク2回目に出かけて来ました(北上)。

前回の足のトラブルを踏まえていろいろ準備。

前回5人の方と言葉を交わす機会がありました。今回はもっと多くの東北在住の方とお話しできたり、街中でも挨拶していただけるってMCTのおかげだなあと嬉しく思いました。ゆっくりペースで歩く記録として残して行きたいです。

【準備編】

- 有料トレイルマップ10冊セットを購入
- 靴底の硬い登山靴をはいていく事

【スタート地点への移動】

東京(23:40 発)→仙台へ夜行バス移動(05:50 着)→仙台駅東口ロータリーで朝マック→JR常磐線で仙台駅(06:31)→新地駅(07:21)。新地駅から徒歩で出発点(1010.37)へ徒歩移動。

【セクションハイク2回目-Day1】

(1010.37)→龍昌寺→古舘公園→中浜小学校見学→坂元駅(夢いちごの里でランチ。いちご

とお菓子購入)→国道 6 号線→本日の終了点(994.69)→徒歩山下駅(15:22)→新地駅下車(15:34 着)宿泊地 新地駅前ビジネスホテル]

*スマホで距離 24km、36,000 歩でしたが、私にとって 1 日に 20km 以上とか、3 万歩を超えるとしんどい事を実感。慣れないせいかもしれないが、次のプランに活かせるような気がする。

【セクションハイク 2 回目-Day2】

[宿泊地] 新地駅(07:42)→山下駅下車(07:51)徒歩→本日のスタート地点(994.69)→深山(09:50)→明通峠→四方山(12:00)→黒森山(八方山)→夜討坂→鴻ノ巣峠(14:00)→本日の終了地点(977.27)→徒歩→亶理駅乗車(16:04)→新地駅下車(16:23) 新地駅前ビジネスホテル]

*深山から鴻ノ巣峠への縦走は細かなアップダウンが続き結構疲れました。鴻ノ巣峠手前で疲労が溜まりますが、登山道は細く、切れ落ちた所とか急斜面とか緊張感あり。スマホで距離 23km、36000 歩。やっぱりクタクタでした。

【セクションハイク 2 回目-Day3】

[宿泊地] 新地駅(07:42)→亶理駅下車(08:01)→徒歩で本日のスタート地点(977.27)→亶理公園→椿貝塚→逢隈駅(972.75) 今回はここで終了

逢隈駅乗車(10:51)-仙台駅下車(11:23)

仙台駅高速バス 14:00 乗車→東京駅八重洲口 19:30 着

*仙台～新地間の常磐線は昼間 1 時間 1 本くらいの頻度。私はのんびり数十分待ってたりするのも好きです。

次回セクションハイク 3 回目でやっと阿武隈川を渡って北上できそうです。ここからしばらくは平地が続くそうなので、靴は硬い底のローカットのにしようかなあと思っているところです。(今回は硬い靴底の登山靴で正解でした)

◆THE NORTH FACE エスパル仙台東館スタッフブログ【みちのく潮風トレイル～浦戸諸島後編～】

スタッフが浦戸諸島のトレイルを歩いたときに感じた、島の歴史や魅力、震災復興の進展、などのレポート。



考察、及び今後の展開

みちのく潮風トレイルの最新情報は、運営計画で定められる通り、臨機応変かつ迅速に必要な情報を公開できるよう、当法人のサイト上で発信されている。一方で、環境省が最初に解説したみちのく潮風トレイルの公式サイトもあり、「みちのく潮風トレイル」を検索した際には環境省サイトが最上位の検索結果として上がってくる。利用者は、そのページに掲載される「最新情報はこちらへ」に記される名取トレイルセンターのサイトに誘導され、更に「最新情報はこちらへ」という流れで当法人のサイトにたどり着く流れが多く、不便をしている状況である。当法人のサイトに直接アクセスする利用者も増えてはいるが、改善されるべき点として今後環境省と協議していく。

サイト内で様々な取り組みを実施しているが、閲覧件数は伸びつつもまだ少ないため、より多くの方にみてもらえるサイトにできるよう、必要情報発信と共に取り組んでいきたい。

また、SDGs の 17 のゴールや、持続可能な環境指標に照らし合わせた活動説明も HP 上で発信していく。

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び 情報発信事業	事業 番号	(1.4)-12
事業名 業務名	旅行会社等への PR		
期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体	東北地方環境事務所		
関係団体	業務主任:相澤久美 業務補佐:板橋真美		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイルをより多くの方に歩いていただくため、みちのく潮風トレイルのモデルコース集を印刷し、旅行会社等に提供した。また、日々問い合わせのある旅行会社の要望に答え、ルートへの提案、ガイドの紹介等実施した。

【目的】

みちのく潮風トレイルはロングハイクや登山愛好者など、すでに一人でも長く歩く旅をする術を持つ方々への情報発信を中心に行っているが、まだ長く歩く旅の経験がなく一人で歩き出すにはハードルを感じる方々の数が圧倒的に多い。全線歩かなくとも、部分利用してくださる方の数は更に増やしていく必要があり、歩いてくださる方の裾野を広げることを目的とし、旅行会社等への PR を行なった。これらの方々が、いずれ一人で歩く楽しさを知り、全線歩いてくださること、国内の他のトレイルも歩き始めることで、日本の歩く旅の文化醸成につなげることも目的とする。

【実施内容】

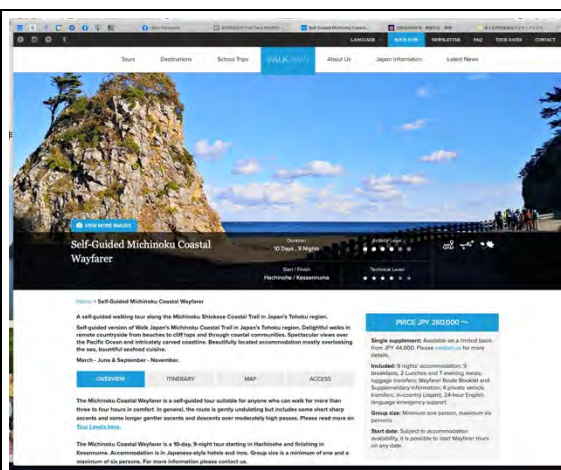
- ① 旅行会社の訪問
- ② 旅行会社等からの問い合わせの対応



びゅうトラベル



アルパインツアー



WALK JAPAN



ユーラシア旅行者



日本旅行

考察、及び今後の展開

みちのく潮風トレイルでは、震災後 JATA の道と称した日本旅行業協会主催による全国の旅行会社の視察ツアーが行われてきた。当初、全線開通前であり知名度も低かったこともあり、なかなか旅行会社によるツアー造成は進まなかったが、全線開通から 3 年経過すること、アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズムの台頭、コロナ禍下でのアウトドアブーム、三密を避ける行動の要請などあり、旅行会社によるツアー造成が進んだ一年であった。

環境省担当官と東京の旅行会社を訪問するなどの取り組みもあり更にその傾向は進んだが、訪問していない旅行会社からも多くの問い合わせを得た。

旅行会社に対しては、ツアー造成協力に対する手数料をいただくのではなく、ツアー造成においては Hiking Map Book を購入し参加者に配布していただくことをお願いしている。

ツアーに、今年度事業で作成した Hiking Passport をつけて、スタンプを押す楽しみをツアーに付加してくれた旅行会社もあった(浄土ヶ浜ビジターセンターの提案による)。今後より多くのツアーが造成され、ハイキング初心者の来訪を増やしていきたい。旅行会社への情報提供、営業は今後も継続し、ハイカーに加えて、多様な層に多様な楽しみ方をしてもらい、トレイルの活用を進めていきたい。

1.5. トレイルに関わる調査・研究事業

本事業年度は実施なし。

1.6. トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業

本事業年度は実施なし。

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-1											
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務／(2)ハイカー来館者等へのサービス提供事業(令和 3 年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)													
期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日													
委託元	東北地方環境事務所													
関係団体														
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐:板橋真美													
実施内容														
【事業概要】														
名取トレイルセンターの来館者およびハイカーへ各種サービスを提供する。														
【目的】														
名取トレイルセンターはハイカーや地域住民、観光客等が利用するため、それぞれの対象に向けた情報提供や館内の利用案内等を行う。														
【実施内容】														
①利用者への情報提供														
ハイカーに必要な情報をセンター窓口で情報提供し、センターの展示に記載・掲示、展示資料を作成した。さらに、ウェブサイト等に日英併記で掲載しハイカーへの周知を図った。トレイル全般に対しての電話、メール等による利用者からの問合せに対応した。														
・ 年間来館者数:12,703 名(内、ハイカー数 962 名)。※表 1 参照														
・ 問合せ件数:電話 494 件、メール(フェイスブック含む)131 件。主な問合せ対応は表 2 のとおり。外国人からの問合せについては表3に示す。														
(4/1～5/10、8/28～9/12 は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1/16 はトンガ海底火山噴火による津波注意報発令のため臨時休館)														
(表1)センター来館者数														
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
来館者数	2019	1,755	3,862	2,298	2,644	2,058	1,753	1,166	1,613	1,041	1,014	1,023	1,132	21,359
	2020	406	399	962	1,132	1,344	1,258	1,847	1,994	784	846	1,016	1,138	13,126
	2021	0	790	1,575	1,093	907	534	1,396	1,345	1,023	1,135	1,454	1,451	12,703
内、 ハイカー数	2019	11	124	190	63	105	118	50	77	91	119	96	82	1,126
	2020	32	20	82	140	191	181	210	168	138	105	150	187	1,604
	2021	0	48	90	78	53	69	102	164	85	80	59	134	962

(表 2) 主な問い合わせ対応(窓口、電話メール)

問合せ内容	回答・対応
トレイル沿線の宿泊施設等	宿泊施設、野営場については可能な限り回答。
トレイルの歩き方	計画の立て方や装備、服装などについて回答。
ルートの距離	データブックに基づき回答。
通行止め等路体の状況	HP の注意情報を見ていただくよう案内。
館内施設貸出	利用規程に沿った内容で当日空きがあれば貸出対応。
イベントについての問合せ、申込み	都度対応。
センター野営場の予約方法や料金等	野営場特設 HP を案内。
Hiking Map Book の販売	販売施設や通販での購入方法を案内。

(表 3) 外国人からの問い合わせ

問合せ内容	回答・対応
Hiking Map Book の海外発送	オンラインショップでは Hiking Map Book、データブックは海外発送可。ただし、現在コロナの影響で他国からの航空便を受け付けられない国の場合は船便で対応する、と回答。
GPX ファイル	みちのくトレイルクラブ HP 掲載の地図データのページを案内。
ハイキングに適した季節を知りたい。	春、秋がおすすめ。雪が少なければ冬も歩けると回答。

②館内施設の利用案内

来館者に対し施設の使用案内を行う他、館内施設(講義室、会議室、実習室、シャワー)等の予約対応、貸し出しを行った。

考察、及び今後の展開

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、全体の年間来場者数は減少したが、野営場がプレオープンした 10 月以降は来場者数が増加傾向にあった。また、同時期からセンターへの問合せは野営場に関するものが増え、一般の方の野営場プレオープンへの関心の高さが示された。トレイルに関する問い合わせは、地図の入手方法や宿泊について等、実際に個人で計画を立てる際に必要な情報に関するものが多く、個別にハイキング相談会を受けられることなども案内しながら対応した。今後の展開としては、ハイカーの疑問を解消できる Q&A 集が Web 上にあれば、基本的な問い合わせを減少させることができ、ハイカーと運営側双方にメリットがあると考えられる。

事業費 (受託金額)	11,224,353 円	経費 (人件費含む)	10,850,039 円	売上	374,314 円
---------------	--------------	---------------	--------------	----	-----------

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-2
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務／(3)センター管理業務(令和3年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体			
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐:板橋真美		
実施内容			
【事業概要】 名取トレイルセンターの清掃および展示施設の点検管理を行う。			
【目的】 施設の衛生環境を維持管理し、利用者が快適に過ごせる環境を整える。			
【実施内容】 ①清掃業務 センターの利用環境を快適に維持するため、日常清掃と定期清掃を実施した。 ②センターの点検等業務 展示施設の点検管理(日々の閉館時の施設の消灯や各部屋の施錠、見回り等も含む)を行った。			
考察、及び今後の展開			
昨年度に続き、今年度も12月末の大掃除はサポーター(グリーンメンバー)の皆さんにボランティア参加を呼びかけ、4名の方に館内清掃をお手伝いいただいた。少しずつではあるが、サポーターとして当法人の活動を支えて下さる名取市民の方も増えてきている。これからは園庭の草取りの機会も増えていくため、会員・サポーターの皆さんのお力を借りて、楽しく交流しながら施設を維持していきたい。			
事業費 (受託金額)	事業(1.7)-1 に含む	経費 (人件費含む)	売上

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-3
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会業務		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元	名取市(東北地方環境事務所)		
関係団体			
担当者	協議会副会長:佐々木豊志、業務主任:相澤久美 センター長:板谷学、副センター長:板橋真美、協議会幹事長:関博充 業務は職員全員で実施		
実施内容			
【事業概要】 みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会の事務局として、みちのく潮風トレイル、及びみちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターの管理運営に関する事業を実施した。			
【目的】 協働する自治体、地域事業者、住民の方々のトレイルやハイキングに関する理解を促し協力を得ること、また多くのハイカーに来訪してもらい、地域の方々と交流を産み出し、東北沿岸の復興と更なる振興に資することを目的とし実施した。地域の方々のトレイルやハイキング、ハイカーに対する理解は、みちのく潮風トレイルを歩いてくれるハイカーが地域の方々と交流する中で自然に進めてくれており、名取トレイルセンターでは、ハイカーが安心安全にトレイルを歩くことができるよう必要な情報発信を収集発信し、地域の方々とハイカーの交流がよりよく進むことを目的とし運営された。			
【実施内容】 事業1 みちのく潮風トレイルの管理運営に関する事業／事業(1.2)-1 に詳細記載 (1)統括本部として、以下の事業を行った。 ・路線の再設定支援、運営計画構成員との連絡調整、運営計画構成員からの情報収集、運営計画構成員への提供・指示、状態把握(一斉巡視等)の声かけ ・管理台帳の管理・更新・共有 ・環境省直轄区間の維持管理業務 ・整備ボランティアの募集と管理 ・利用者情報の収集 ・地域連絡会の開催支援 ・サテライト連絡会の開催 ・旅行会社等への情報提供 ・イベント用具類の管理・貸出 ・日本ロングトレイル協会など関係他団体との情報交換			

(2) 東松島市から相馬市区間のサテライトとして、以下の事業を行った。

- ・各構成員との連絡調整、情報収集・提供、状態把握(一斉巡視等)の声かけ
- ・現地調査
- ・地域連絡会の開催

事業2 ハイカー、来館者等へのサービス提供事業／事業(1.7)-2 に詳細記載

ハイカー、来館者等へのサービスとして以下の事業を行った。

- ・窓口・電話・メール問合せ対応
- ・館内案内、来館者へのレクチャー
- ・来館者への観光等情報の提供
- ・書籍・映像媒体の管理

事業3 環境教育プログラム等提供事業

交流人口の拡大、環境保全・自然保護への理解・参画を推進するため、以下の事業を行った。

- ・地域資源を活かした環境教育プログラム等の提供
- ・センターや地域資源を活用したプログラムを実施する他団体の情報収集及び連携体制の構築

事業4 地域交流促進事業

周辺地域住民の地域交流を促進し、また、国内外からの来訪者と地域住民、来訪者同士の交流を促進するための事業として、以下の事業を行った。

- ・地域向け講座、各種ウォークイベント、クラフト体験等
- ・センター周辺の施設等の情報発信
- ・館内施設の貸室対応

事業5 センター維持管理事業

センターを適切に管理運営するために、以下の事業を行った。

- ・館内及び敷地の清掃
- ・設備の点検

事業6 その他、事業の理念・目的を達成するために必要な事業

- ・運営協議会会長のトレイルの視察及び宮古市長、田野畑村長の表敬訪問



事業1：地域連絡会



事業1:サテライト連絡会



事業1：トレイル全線開通2周年企画展示



事業3:清掃活動（名取市）



事業4:森づくり（植樹）イベント



事業6:田野畑村長への表敬訪問

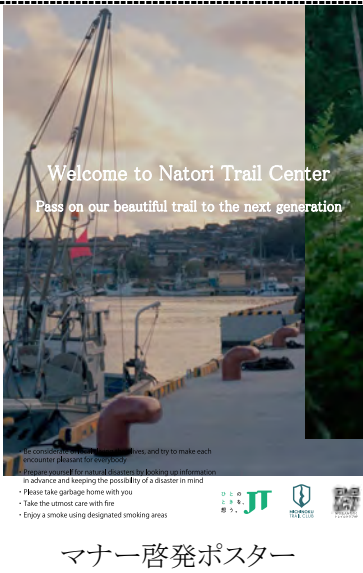
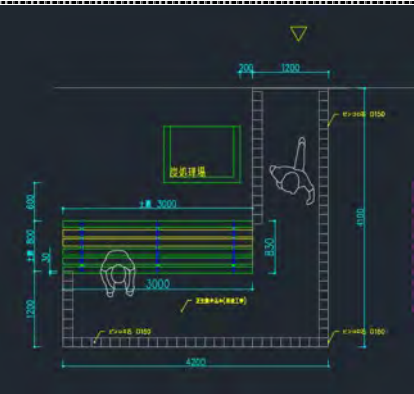
考察、及び今後の展開

全線開通から丸三年が経過する。台風19号、コロナウィルスの感染拡大で、人々の移動が制限される中、みちのく潮風トレイルを歩く地域の方々の数が増えた印象である。少しずつ人々が歩き始め、徐々に成長していくことが望ましいと考えており、台風19号やコロナ禍は、喜ばしいものではなかったが、全線開通直後に今後も直面する課題として認識されたことで、NPOの成長にはつながった。地域連絡会においては、自治体以外の地域事業者の参加も少しずつ増えており、地域全体でトレイルを活用しようという機運は盛り上がってきている。また、地域住民の主体的なトレイル整備やハイカーへの協力も少しずつ増えてきている。

施設運営は、三年目に入り、1年間様々な取り組みが行われたが、それぞれの職員が意見を出しあい、新たな取り組みをすることで、少しずつファンの獲得につながっている。センター来館者数はコロナ禍で伸び悩んだが、徐々に回復傾向にあり、また、全体の中でハイカーの占める割合が増えつつある。ただし、名取、閑上地域の方々との交流はなかなか進んでおらず、次年度の課題とする。また、環境省施設であることを踏まえ、より公共性高い活動を意識する。

会長である名取市山田市長のトレイル視察及び首長の訪問は、協議会予算には計上されておらず、協議会の各構成員が費用負担をし実施しているが、自治体にトレイルの取り組みを促す上では重要な役割を担うため、今後も継続実施したい。

事業費 (受託金額)	7,100,011 円 (名取市負担金)	経費 (人件費含む)	7,163,913 円	時期 繰越金	(63,902 円)
---------------	-------------------------	---------------	-------------	-----------	------------

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業			事業番号	(1.7)-4
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター 野営場 喫煙スペース設置				
期間	令和3年10月1日～令和3年12月31日				
委託元					
関係団体	JT、東京ガスコミュニケーションズ				
担当者	業務主任:相澤久美				
実施内容					
【事業概要】					
JT と TGCOM の協力を得て、センター野営場にカーボン・ストック・ファニチャー (CSF)を活用した喫煙所を設置した。同時にマナー啓発ポスターも制作していただき掲示した。設営には、地域の方、センターのボランティアの方々にも協力していただいた。					
【目的】					
野営場に喫煙所を設け、分煙を徹底すること、CSF を活用し名取市も取り組むゼロカーボンの考え方を形で表現すること、ハイキング中のマナー啓発にもつなぐことなどを目的とした。					
【実施内容】					
① 喫煙スペースとしての CSF の設置					
② マナー啓発のためのポスターの制作					
 マナー啓発ポスター   左:完成した喫煙所 上:喫煙所図面					
考察、及び今後の展開					
分煙マナーはもちろん、喫煙スペースを設け灰皿は置かず携帯灰皿の使用を促すことで、トレイル上での喫煙マナー向上につながることも期待する。また、センターとして脱炭素等環境問題に対する高い意識を持つことを表明する場としても機能させたい。					
事業費 (寄付金額)	770,000 円	経費 (人件費含む)	1,117,633 円	売上	(347,633 円)

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-5
事業名 業務名	令和3年度 自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業(主催:環境省)		
期間	令和3年11月5日～令和3年11月24日		
委託元			
関係団体	環境省東北地方環境事務所		
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐:板橋真美		
実施内容			
【事業概要】			
環境省が「国立公園満喫プロジェクト」の一環として、国立公園に限らず全国において自然資源を活用して地域活性化に取り組む地域を対象に、国内外のニーズも踏まえながら、ビジターセンターなどの拠点施設のスタッフなど、地域における持続可能な仕組み構築に向けた、キーマンとなる人材の育成支援を行う「自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業」に参加した。			
【目的】			
施設における解説業務(インタープリテーション)のスキルアップをはかり、インタープリテーション全体計画策定の手法も学ぶことが目的。			
【実施内容】			
「地域」を念頭とした複数の関係者からなる「チーム」が必要とのことで、拠点施設運営スタッフとしての板谷と板橋に、サポート役として東北地方環境事務所 名取自然保護官事務所の富樫アクティブレンジャーが加わりチームとなって研修に参加した。			
・令和3年11月5日 事前アドバイザー派遣では、公益社団法人キープ協会 鳥屋尾健先生に名取トレイルセンターに直接お越しいただき、施設や展示等を見ていただいた。			
・令和3年11月10日、18日、24日 オンライン全体集合日(全3回)			
約1ヶ月間、チームで研修を受講しながら今後みちのく潮風トレイルをどう来館者に伝え、名取トレイルセンターをどのような施設にしていきたいかを話し合った。			
＜施設の将来像・ビジョン＞			
① ハイカーが訪れる施設 ② 地域の皆さんが訪れる施設			
③ トレイルを知らない人でも興味を持つ施設			
④ 国内外のハイカーと地域住民が集い、交流が生まれる施設			
⑤ トレイル「全線」の情報発信拠点として認知されている施設			
考察、及び今後の展開			
施設の将来像・ビジョンに向かって、中長期的な計画を立て実行し、引き続きより良い施設運営に取り組みたい。センター内での展示やイベント等の企画をはじめ、運営や事業計画について長期的視点を持ち考える上で有意義な研修であった。			

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理業務	事業番号	(1.7)-6
事業名	野営場運営、野営場予約サイト運営		
業務名	名取トレイルセンター野営場等の管理運営業務		
期間	令和3年10月29日～令和4年4月31日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体			
担当者	業務主任:相澤久美 主担当:丹生茂義		
実施内容			
【事業概要】			
名取トレイルセンター野営場の利用者への対応及び、委託施設の維持管理、周辺施設や関係団体等と連携してサービス向上に努めた。			
【目的】			
当該施設は、みちのく潮風トレイルを歩くハイカーへのサービス提供だけでなく、オートキャンプやデイキャンプ等のレクリエーションの機会やサービスを提供することにより周辺地域住民をはじめとする人々が交流する場として管理運営されることを目的としている。			
【実施内容】			
(1) 利用者への対応			
① 施設利用料金の徴収			
② 施設利用方法の説明			
③ 利用予約の受付及び調整			
④ 名取トレイルセンター、及び周辺観光施設の利用案内			
⑤ ウェブサイトなどによる施設の広報			
⑥ 年少者、高齢者、障害者等へのサポート			
⑦ 窓口対応、各種問い合わせへの対応			
⑧ 要望、苦情、トラブル、緊急時等への対応			
(2) 野営場施設の維持管理			
(3) 水抜き作業(水道の凍結が想定される際)			
(4) 点検及び修繕			
(5) 刈り払い及び散水			
(6) 樹木点検			
(7) 清掃ならびに廃棄物の回収及び破棄			
(8) バイオトイレの点検及び清掃			
(9) 備品の管理			
(10) 名取トレイルセンター野営場を利用してのイベント開催			
① 高橋庄太郎さんの「歩き旅とテント泊の楽しみ方」開催			
② 親子で楽しむ無料プログラム開催			
③ スラックライン体験教室			



野営場にイベント参加者のテントが並んだ



夕日を眺めながら高橋さんを囲んで会話



焚き火を囲んで夕食をみんなで楽しんだ



翌朝はゆりあげ港朝市で魚介類 BBQ



みんなで凧揚げをしました



スラックライン初体験

考察、及び今後の展開

徐々に利用者数は増加しているが、さらに認知度を上げるために野営場を利用したイベント開催などを計画している。また、利用が週末に集中しているため平日の稼働率を上げるための策（団体向け貸し切りプラン、平日使い放題サブスクリプション／ワーケーション向け、シーズナリティ／閑散期の割引導入、平日限定のプログラム提供など）を検討する。そのほか、ハンモックの導入や利用者アンケートで要望の多い薪の販売や焚き火台のレンタル、についても検討していく。

引き続き、野営場を利用してハイカーや周辺地域住民をはじめとする利用者へのサービス向上に積極的に取り組んでいきたい。

事業費 (受託金額)	1,129,064 円	経費 (人件費含む)	1,154,569 円	売上	(25,505 円)
---------------	-------------	---------------	-------------	----	------------

●売上状況

	10月			11月			12月			1月			2月			3月			累計		
	フリー	オート	合計	フリー	オート	合計	フリー	オート	合計	フリー	オート	合計	フリー	オート	合計	フリー	オート	合計	フリー	オート	合計
稼働日数/(日)	3	0	3	25	4	29	24	24	48	23	23	46	24	24	48	26	26	52	125	101	226
サイト数/(サイト)	5	0	5	5	3	8	5	3	8	10	5	15	10	5	15	10	5	15	—	—	—
予約可能数/(件)	15	0	15	125	12	137	120	72	192	230	115	345	240	120	360	260	130	390	990	449	1439
予約実績数/(件)	11	0	11	45	5	50	41	22	63	48	28	76	71	30	101	46	36	82	262	121	383
稼働率/(%)	73%	—	73%	36%	42%	36%	34%	31%	33%	21%	24%	22%	30%	25%	28%	18%	28%	21%	26%	27%	27%
利用人数/(名)	14	0	14	74	12	86	55	48	103	68	67	135	114	62	176	76	84	160	401	273	674
売上金額/(円)	16,500	0	16,500	77,550	25,850	103,400	63,030	123,200	186,230	76,010	146,080	222,090	128,590	151,580	280,170	82,740	182,930	265,670	444,420	629,640	1,074,060

※以下はアンケート回答協力者のみの数値（10月:13件、11月:90件、12月:46件、1月:50件、2月:75件、3月:53件）である。

●利用者属性

年齢	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2歳以下		0%		0%	1	1%	1	1%	2	1%	2	2%	6	1%
3～5歳		0%	2	2%	4	5%	5	5%	7	5%	5	5%	23	4%
6歳～12歳		0%	12	13%	8	9%	2	2%	12	8%	9	8%	43	8%
13歳～19歳		0%	2	2%		0%		0%	1	1%	5	5%	8	1%
20代	1	8%	12	13%	9	10%	14	13%	28	19%	21	19%	85	18%
30代	3	23%	32	36%	22	25%	38	35%	41	28%	27	25%	163	29%
40代	2	15%	16	18%	24	28%	28	25%	36	24%	16	15%	122	22%
50代	4	31%	9	10%	13	15%	17	15%	17	11%	12	11%	72	13%
60代	3	23%	3	3%	6	7%	5	5%	4	3%	11	10%	32	6%
70歳以上		0%	1	1%		0%		0%		0%	0	0%	1	0%
合計	13	100%	89	100%	87	100%	110	100%	148	100%	108	100%	555	100%

性別	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	12	92%	58	65%	65	76%	80	73%	82	61%	64	59%	361	67%
女性	1	8%	31	35%	21	24%	29	27%	53	39%	44	41%	179	33%
合計	13	100%	89	100%	86	100%	109	100%	135	100%	108	100%	540	100%

国籍	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
日本	13	100%	89	100%	45	100%	76	100%	76	100%	52	100%	351	100%
合計	13	100%	89	100%	45	100%	76	100%	76	100%	52	100%	351	100%

都道府県	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
北海道		0%	2	2%		0%		0%		0%		0%	2	1%
青森県		0%		0%		0%		0%	1	1%		0%	1	0%
岩手県		0%		0%	1	2%		0%		0%	2	3%	3	1%
宮城県	11	85%	78	87%	44	96%	75	99%	74	96%	57	85%	339	92%
山形県		0%		0%		0%		0%	1	1%	1	1%	2	1%
福島県		0%	3	3%		0%		0%		0%	1	1%	4	1%
栃木県		0%	1	1%		0%		0%		0%		0%	1	0%
埼玉県		0%		0%		0%		0%		0%	3	4%	3	1%
千葉県	2	15%		0%		0%	2	0%		0%		0%	2	1%
東京都		0%	1	1%		0%		0%		0%	2	3%	3	1%
神奈川県		0%	2	2%	1	2%		0%		0%		0%	3	1%
石川県		0%	2	2%		0%		0%		0%		0%	2	1%
山梨県		0%	1	1%		0%	1	1%		0%		0%	2	1%
長野県		0%		0%		0%		0%	1	1%		0%	1	0%
高知県		0%		0%		0%		0%		0%	1	1%	1	0%
合計	13	100%	90	100%	46	100%	76	100%	77	100%	67	100%	369	100%

利用回数	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
初めて	12	100%	87	98%	40	87%	38	76%	56	73%	37	71%	270	83%
2回目		0%	2	2%	5	11%	11	22%	15	19%	11	21%	44	13%
3回以上		0%		0%	1	2%	1	2%	6	8%	4	8%	12	4%
合計	12	100%	89	100%	46	100%	50	100%	77	100%	52	100%	326	100%

利用目的	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ハイキング	2	14%	8	9%	2	4%		0%	1	1%	2	4%	15	4%
キャンプ	11	79%	78	88%	42	82%	47	90%	72	92%	47	89%	297	88%
デイキャンプ		0%	2	2%	2	4%	5	10%	4	5%	3	6%	16	5%
イベント参加		0%		0%	2	4%		0%		0%	1	2%	3	1%
ワーケーション		0%		0%	2	4%		0%		0%		0%	2	1%
観光	1	7%	1	1%	1	2%		0%	1	1%		0%	4	1%
合計	14	100%	89	100%	51	100%	52	100%	78	100%	53	100%	337	100%

情報入手先	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
名取トレイルセンター		0%		0%	7	13%	5	10%	7	9%	12	21%	31	9%
インターネット(SNS等)	7	50%	61	62%	36	67%	36	73%	54	68%	34	59%	230	65%
口コミ	5	36%	25	26%	5	9%	8	15%	18	23%	9	16%	70	20%
テレビ	2	14%	12	12%	3	6%		0%		0%		0%	17	5%
雑誌・新聞		0%		0%	2	4%	1	2%	1	1%	3	5%	7	2%
その他		0%		0%	1	2%		0%		0%		0%	1	0%
合計	14	100%	98	100%	54	100%	52	100%	80	100%	58	100%	356	100%

誰と利用したか	10月		11月		12月		1月		2月		3月		累計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ソロキャンプ	7	54%	17	17%	22	45%	18	34%	27	33%	16	30%	107	31%
友人・知人と	6	46%	49	49%	13	27%	23	43%	29	35%	13	25%	132	38%
家族・親族と		0%	34	34%	14	29%	12	23%	26	32%	24	45%	110	31%
合計	13	100%	100	100%	49	100%	53	100%	82	100%	53	100%	350	100%

●アンケートのご意見、ご感想

[10月]

- ・焚き火スペースの拡充を検討してほしい。
- ・焚き火シートを必須化して芝生でも焚き火できるようにしてほしいです。
- ・芝生でも防火シート&焚き火台使用で利用出来ると良いと思います。
- ・焚き火するところが限られているのでスペースの取り合いになると思う。→焚き火キャンプサイトプランを追加済み。
- ・耐火ボードやレンガの貸し出しなどを検討してほしい。→ 焚き火シートと遮熱用カーボンフェルトをオートサイト利用者に貸し出し中。
- ・炊事場に照明があると助かります。→ 照明を設置済み。
- ・フリーサイト内への通路（芝）を木製などの他素材にした方が良いと思う。
- ・トイレ数を増やしてほしい。
- ・トイレがキレイだった。
- ・サイトからトイレに行く通路が暗い。
- ・夜でも使えるシャワーが欲しいです。
- ・とても快適に過ごせました。自宅から直ぐなのでまた利用したいです。

[11月]

- ・夜間、駐車場が死角になるので車上荒らし等の不安がある。設備、職員の方の対応は丁寧でまた利用させていただきたいです。
- ・トイレに衣類を掛けるフックがほしい。BBQ中にタヌキが出た。思ったほど風もなく快適でした。
- ・とても綺麗なキャンプ場でゆっくりできました。バイオトイレは大変いいと思います。
- ・風が強い日が多い立地条件のようですので、風邪よけ囲いのようなものがあれば尚良いと思います。
- ・利用者が増えたらトイレの数が不足すると思います。
- ・水場にはライトがあった方が良くと思います。→ [照明を設置済み](#)。
- ・焚き火エリア付近が地面が硬くペグが刺さりにくいので利用者に事前に教えてあげた方が良くと思います。
- ・コンパクトで落ち着いた感じがよかったです。必要な設備もあり、またゆっくり利用してみたいです。

[12月]

- ・フリーサイトでも焚火台が使えるか、炭火が使えると便利
- ・焚火台をフリーサイトでも自由に使えるようになると、もっと良くなると思う。
- ・シャワーの利用時間がせめて1時間ぐらいになればいいな。
- ・フリーサイトの焚き火エリアが少ない拡張していただきたいです。
- ・フリーサイト中央に、炊事場があると便利だと思いました。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。

[1月]

- ・初めての冬キャンプでしたが、トイレも綺麗で快適でした。
- ・フリーサイトでも火を起こしたい。
- ・チェックアウトをもう少し遅い時間帯にして欲しい。→ [チェックアウトの最終時間を変更済み\(10時まで→11時まで\)](#)・
- ・フリーサイトでもせめてBBQグリルの使用を許可して欲しい。
- ・焚火できるスペースを増やして欲しい
- ・トイレの数を増やしてほしい
- ・フリーサイトの砂利以外でも焚火ができるようになるといい。
- ・車の音が朝早くからうるさい
- ・とても快適に過ごせました。ありがとうございました。

[2月]

- ・とてもキレイでした。
- ・チェックアウトが11時だと助かります。→ [チェックアウトの最終時間を変更済み\(10時まで→11時まで\)](#)。

- ・焚火スペースが広くなると良い
- ・焚火場所が狭い。
- ・焚火箇所を増やしていただきたい。
- ・フリーサイトでも焚火が出来る場所が多いと良いと思います。
- ・フリーサイトで焚き火お願いします。
- ・フリーサイト全面焚き火ができると嬉しい。
- ・焚火箇所が狭い、焚火箇所なら喫煙良いのでは
- ・夜間の21時以降にうるさいグループがいて迷惑だった。
- ・自分の利用しているオートサイトを通行する人がいて迷惑だった。
- ・ハイカー割引を利用して500円位でキャンプできたら嬉しいです。→ハイカープランを追加済み。
- ・トイレの数が欲しいです。
- ・風が強かった。デイキャンプができると良い。
- ・連泊で定休日でも出来るようにしてほしい。→定休日（火曜日）を挟む連泊の場合は電話受付で利用出来るよう変更済み。
- ・綺麗で十分な設備でした。トレーラーでの利用ですが困ることはありませんでした。また利用させていただきます。
- ・シャワーなどのセンター内の施設がもう少し使える時間が長いと助かります。
- ・チェックアウトを早くできるようにしてほしい
- ・夜うるさいグループがいて0時くらいまでカラオケをしていて困りました。

[3月]

- ・焚火がどこでも可能にほしい
- ・焚火場所が多いと良いと思います。
- ・キャンプエリア拡大してほしい。
- ・快適に過ごせました。次も利用させていただきます。
- ・トイレを増やしてほしい。
- ・心地のいいキャンプ場でした。ありがとうございました。
- ・室内トイレ、シャワー室の利用時間を延長してほしい。

事業種別	(1.8) その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業	事業番号	(1.8)-1
事業名 業務名	TRAIL GATE／みちのく潮風トレイル Hiking Map Book 及び Data Book の販売		
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
委託元			
関係団体	一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所		
担当者	業務主任:森恭平 業務補佐:板谷学		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイルのルートを掲載した「みちのく潮風トレイル Hiking Map Book」や、ハイキングに必要な情報、水場や商店等のランドマークや距離、標高差を記した「Data Book」を作成し、店頭やオンラインショップで販売している。これらの商品は、TRAIL GATE(オンラインショップ含む)の他、トレイル沿線上のサテライト施設や協力施設にも販売協力していただいている。

【目的】

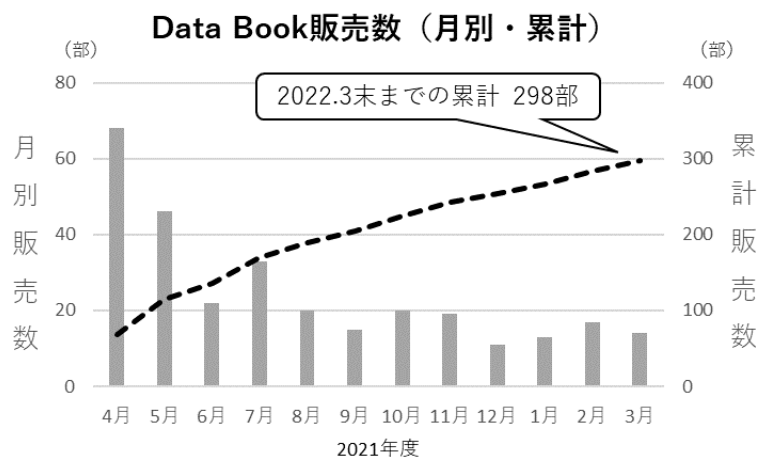
みちのく潮風トレイルを安心安全に歩いていただくことを目的とし製作販売している Hiking Map Book は、トレイル開通時に環境省が発行していたトレイルマップに比べ、軽量でありながら地点情報や標高図が掲載したことから、ハイカーがハイキングの計画を立てる上での利便性の向上につながっている。売上の一部は寄付とし、トレイルの整備等に役立てることを目的としている。

【実施内容】

① みちのく潮風トレイル Hiking Map Book の販売(4月1日から、約4500冊販売)

② Data Book の増刷

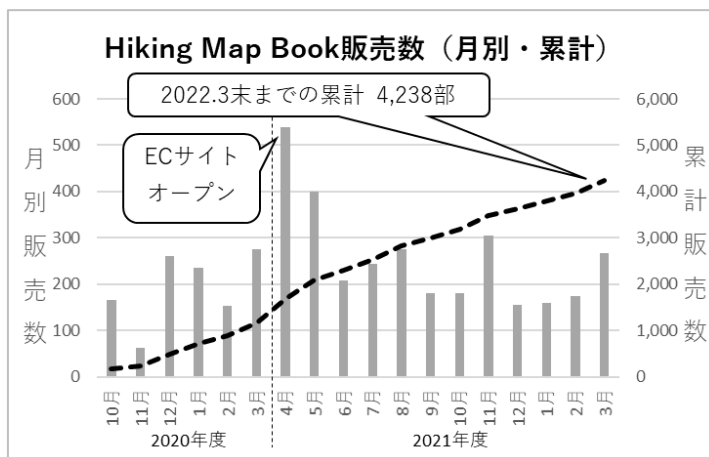
みちのく潮風トレイル上の水場や商店、ランドマークを網羅した「Data Book」の第一版500部が完売したため、同様の内容で増刷した。



Data Book を増刷した。



Map種別	冊数
01 八戸～久慈	426
02 久慈～宮古（北部）	320
03 宮古（北部）～山田	237
04 山田～釜石	190
05 釜石～陸前高田	234
06 陸前高田～気仙沼（南部）	202
07 気仙沼（南部）～女川	189
08 女川～石巻	190
09 石巻～名取	238
10 名取～相馬	272
10冊セット：174	1,740
合計	4,238



みちのく潮風トレイル Hiking Map Book

考察、及び今後の展開

コロナ禍ながら Hiking Map Book と Data Book の販売は順調であった。野外を少人数で歩くというアクティビティが、この状況下で受け入れられ、かつ実際に歩きに来るまでには至らなくても、状況が落ち着き次第歩くことを前提にこれらの商品を購入する人が常に一定数存在していることを示すものとする。来年度は Hiking Map Book の改訂版の制作販売を予定している。

事業費	5,428,326 円	経費 (人件費含む)	484,620 円	売上	4,943,706 円
-----	-------------	---------------	-----------	----	-------------

2.1. 旅行業法に基づく旅行業

本事業年度は実施なし。

2.2. 旅行業法に基づく旅行業者代理業

本事業年度は実施なし。

2.3. 宿泊施設及びガイドのあっせん事業

本事業年度は実施なし。

2.4. トレイルに関する旅行商品企画事業

本事業年度は実施なし。

事業種別	(2.5)トレイル関連商品の販売事業	事業番号	(2.5)-1
事業名 業務名	TRAIL GATE／ハイキングギア・書籍等の販売		
期間	令和３年４月１日～令和４年３月３１日		
委託元			
関係団体	株式会社ハイランドデザイン		
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐:森恭平		
実施内容			
【事業概要】 環境省東北地方環境事務所から国有財産使用許可を受け、名取トレイルセンターの一角にて、東京・三鷹のHiker's Depot とみちのくトレイルクラブ協働の「TRAIL GATE」といハイキングギアショップを運営。バックパックやアルコールストーブ、ツェルト等のハイキングギア、関連書籍等を販売した。			
【目的】 名取トレイルセンターは名取市閑上地域に位置している。この地域でしか使われない「閑」という文字には門という意味が含まれており、そしてこの場所がみちのく潮風トレイル上にあることから、当ショップは TRAIL GATE と名付けられている。みちのく潮風トレイルの情報発信の拠点である名取トレイルセンターからハイキング文化の発信をするとともに、ハイカーに対し、必要な道具の提案をすることを目的としている。			
【実施内容】 ① ハイキングギアの販売 バックパックやアルコールストーブ、ツェルト等のハイキングギアの他、ヤマビル忌避剤等、みちのく潮風トレイルを歩く上で必要になる商品を販売した。 ② オンラインショップの運営、商品発送対応 令和３年４月１日からオンラインショップを開設し、オリジナルグッズを販売した。日本国内の方だけでなく、海外からも注文をいただいた。			
			
TRAIL GATE 外観		オリジナルグッズのレイアウトの様子	



スルーハイカーの装備品を展示している



オンラインショップの様子

考察、及び今後の展開

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言による臨時休館の時期でも、オンラインショップには毎月注文があり、各地でハイキングの準備をしている様子が見受けられたが、売上総額のほとんどが Hiking Map Book の注文であり、店頭のみで販売しているバックパック等のハイキングギアの売上数は伸び悩んだ。Trail Bum や Gossamer Gear の商品等、東北のアウトドアショップでは取り扱いが少ない製品も販売しているので、次年度は SNS での告知等の積極的な広報の他、販売につながるイベント実施を検討したい。また、商品説明の知識と技術の習得にも取り組んでいく。また、野営場がオープンしたことから、野営場利用者に購入していただけるような商品の仕入れも検討していく。

事業費	715,948 円	経費 (人件費含む)	133,796 円	売上	582,152 円
-----	-----------	---------------	-----------	----	-----------

事業種別	(2.5)トレイル関連商品の販売事業	事業 番号	(2.5)-2
事業名 業務名	TRAIL GATE／オリジナル商品の販売		
期間	令和３年４月１日～令和４年３月３１日		
委託元			
関係団体	株式会社ハイランドデザイン		
担当者	業務主任:板谷学　業務補佐:森恭平		
実施内容			
【事業概要】			
名取トレイルセンターの来館者から、「みちのく潮風トレイルのグッズが欲しい」という要望が非常に多かったことから、東京・三鷹の Hiker’s Depot とみちのくトレイルクラブが協働で運営している名取トレイルセンター内のハイキングギアショップである TRAIL GATE において、令和２年４月より TRAIL GATE オリジナルグッズ(T シャツ、缶バッジ、ステッカー、財布)等を作成し、店頭やオンラインショップで販売している。これらのオリジナルグッズは、TRAIL GATE(オンラインショップ含む)の他、トレイル沿線上のサテライト施設や協力施設にも販売協力していただいている。			
【目的】			
名取トレイルセンターはみちのく潮風トレイルを歩くハイカーや地域住民、観光客が訪れる施設である。オリジナルグッズは、これから歩くハイカーにとってはトレイルを歩いている目印として活用することができ、また、歩き終えたハイカーにとっては、歩いた思い出の一つとして手に取ることができるため、オリジナルグッズ＝ファングッズを通して、みちのく潮風トレイルとハイカーの関係性を構築する一助とすることを目的とした。			
地域住民や観光客においても、お土産物として手に取ることができるため、みちのく潮風トレイルに関心を向けていただくきっかけとして活用することを目的とした。			
【実施内容】			
① オリジナル商品の販売			
・T シャツ(グレー、ネイビー)			
・缶バッジ			
・ステッカー			
・財布 等			
② 新商品 オリジナルタンブラーの作成・販売			
滋賀県彦根市に本社を置く「KINTO」製のタンブラーに、みちのく潮風トレイルのルートと足跡を印刷したオリジナルタンブラーを作成し、TRAIL GATE の店頭及びオンラインショップで販売を開始した。			



オリジナル T シャツ



オリジナルの財布



ステッカー
と
缶バッジ



新商品のタンブラーボトル

考察、及び今後の展開

長引くコロナ禍の影響でセンター閉館期間もあり、オリジナルグッズの販売は伸び悩んだ。次年度は HP・SNS での広報にも力を入れ、販売数を増加させられるような施策を検討したい。また、以前よりタオルや手ぬぐいの要望も多いため、次年度は新商品の作成についても引き続き検討を進めたい。

事業費 (受託金額)	775,232 円	経費 (人件費含む)	(512,834 円)	売上	1,288,066 円
---------------	-----------	---------------	-------------	----	-------------

事業種別	(2.5)トレイル関連商品の販売事業		事業番号	(2.5)-3	
事業名	自動販売機での飲料提供				
期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日				
委託元					
関係団体	(株)ダイドードリンコ、(株)コカ・コーラボトラーズ				
担当者	業務主任:板谷学 業務補佐:板橋真美				
実施内容					
【事業概要】					
名取トレイルセンター館内及び敷地内にある自動販売機(館内1台、屋外2台、計3台)にて飲料を販売した。					
【目的】					
名取トレイルセンターを訪れるハイカー等の利用者に対し、休憩時にリフレッシュ出来る飲料を提供する。					
【実施内容】					
(株)ダイドードリンコ2台と(株)コカ・コーラボトラーズ1台の計3台を設置している。環境への配慮から、自動販売機の中にはリサイクルペットボトルを用いた製品と缶製品のみを補充してもらえよう依頼し、使い捨てプラスチックの削減につながるようご協力をいただいている。					
 					
館内の自動販売機		屋外(野営場側)の自動販売機2台			
考察、及び今後の展開					
10月末より園庭に野営場がプレオープンし、屋外の自動販売機の売上が増加した。また、自動販売機は車道から目立つ壁面に設置されているため、通りすがりの方が車を路肩に停めて飲料を購入する姿もしばしば見かけることがあった。4月以降は野営場が正式オープンするため来館者数も増え、自動販売機がさらに活用されることが期待できる。					
事業費 (受託金額)	42,496 円	経費 (人件費含む)	18,569 円	売上	23,927 円